

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(令和6年度～9年度使用・小学校用)

令和5年 7月

教科用図書調査委員会

目次

教	科	種	目	ページ
国	語	国書	語写	1 5
社	会	社地	会図	9 13
算	数	算	数	16
理	科	理	科	23
生	活	生	活	29
音	楽	音	楽	36
図	画	図画工作	図画工作	39
家	庭	家	庭	42
体	育	保	健	45
外	国	英	語	52
特別の教科	道徳	道	徳	59
特別支援学級		特別支援学級		66

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
小 学 校 【 国 語 】

調査委員長

小宮 孝之

総 評

○東京書籍

- ・単元の最初と終わりに、児童の学習の流れを「見通す」→「取り組む」→「振り返る」と示し、学習方法を明確にしている。
- ・各学年ともに、「学習の進め方」、「ノート の 作り方」など、学習を見通せる資料や記事が巻頭に大きく取り上げられている。
- ・単元末の「ふり返る」の「生かそう」では、学習したことを活用する方法が示され、板橋区授業スタンダードに沿った構成であり、児童が今後の学習につなげやすい。
- ・文字の大きさ、フォント、色、太さなど、ユニバーサルデザインを踏まえた表記となっている。
- ・各学年の冒頭部分に、話を続けることを目標とするのか、相違点に目を向けることなのか、想像したことを話すのか等、学びのゴールの設定が不明瞭な単元がある。
- ・二次元コードが多い、現行のものより挿絵が少ない箇所がある。

○教育出版

- ・各学年で「読むこと」から発展する探求的な学習が設定されている。さらに、児童が調べたことを伝え合う学習につなげている。
- ・説明的文章においては、内容や対象、文章全体の構成が明瞭なものを取り上げており、取り上げている資料が読み解く力を児童に身につける指導につなげることができる。
- ・二次元コード、SDG s マークが配置されている。特に二次元コードについてはコードの中央に特徴的なマークを置き、リンク先のカテゴリ内容が事前に分かるようにしてある。
- ・単元が「たしかめよう」「くわしくよう」等、見通しがもてる構成になっており、児童が自ら見通しをもって学ぶことができる。
- ・巻末付録として収録されている言語事項を扱った「ことばの木」等では、学んだページ数が書かれているが、具体的な単元名や教材名がなく、どの単元とつなげて学ぶのかが示されていない。
- ・学び方のページに、前後の学年における学習内容との関連性が説明されていない。

○光村図書出版

- ・探求的な学習を取り入れ、「どうやって学んでいくのかな」という学び方の説明が最初に書いてあり、国語の学習の進め方が示されている。
- ・「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」という学習の流れの構造が大きく描かれ、視覚的に学習全体を捉えられるページが用意されており、児童が自らの学びを調整しながら取り組めるようになっている。
- ・巻末には「言葉の宝箱」等の言語事項が付録として添えられている。児童が言葉への興味をもったり、意味のある言葉に着目したりするなど、語彙の拡充を図ることができる。
- ・説明的文章、文学的文章ともに、イラストや挿絵、写真がある。必要な表、グラフなどもなるべく二次元コードによる別添ではなく、本文と照合できるように編集されている。
- ・記載されている内容が多い。また、資料を読み取る教材にグラフや表が少ない。
- ・上巻には下巻の目次がなく、下巻には上巻の目次がない。また、本文と巻末の付録との関連が分からないページがある。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 国 語 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○単元の最初と終わりに、児童の学習の流れを「見通す」→「取り組む」→「振り返る」と示し、学習方法を明確にしている。</p> <p>○「学習の進め方」や「ノートの手書き」が冒頭に示されている。</p> <p>○「じょうほうのとびら」や「デジタルしりょうをつかおう」等、児童が情報活用能力を高める内容がある。</p> <p>○各単元に「言葉の力」が記載されており、単元を通して身に付ける資質・能力を明確に示している。</p>	<p>○第3学年下巻のP30「話したいな、好きな時間」のように「取り組む」の内容の説明が少なく、授業時間についての計画が立てづらい単元がある。</p> <p>○第6学年の「たずね合って考えよう」のように各学年の冒頭部分に、話を続けることを目標とするのか、相違点に目を向けることなのか、想像したことを話すのか等、学びのゴールの設定が不明瞭な単元がある。</p>
構成・分量	<p>○各単元の最初にある見開きページには、「国語学習のすすめかた」に合わせた学習の流れ（「見通す」「取り組む」「振り返る」）が書かれており、児童や教師にとって学習の見通しがもてる構成である。</p> <p>○第2学年から第6学年まで「話すこと・聞くこと」5～6単元、「書くこと」5～6単元、「読むこと」10単元となっており、バランスよく配置されている。</p> <p>○「振り返る」の「生かそう」では、学習したことを活用する方法が示され、板橋区授業スタンダードに沿った構成であり、児童が今後の学習につなげやすい。</p>	<p>○第4学年下巻のP128「十年後のわたしへ」での学習例が学年の実態に合っていない。（成人年齢引き下げを受けて、二十歳を節目とする扱いになっている。）</p>
表記・表現	<p>○学習内容に関する資料の二次元コードがあり、前年度の関連教材の二次元コードも載っていて、各学年の学習がつながるようになっている。</p> <p>○第5学年のP104「本は友達」やP210「伝えたい言の葉」のように教材によってフォントやページの色を工夫している。</p> <p>○各単元の扉、特に説明文のページについては写真を大きく使い、児童の興味を引く工夫がある。</p>	<p>○二次元コードが第1学年57個あり、そのほかの学年も50個以上と多いため、活用方法について児童への指導が必要になる。</p> <p>○第4学年下巻のP23の新聞の例のように例文の文字や学習の流れが小さい箇所がある。</p>
使用上の便宜	<p>○ユニバーサルデザインフォントが用いられている他、番号や色遣い、文字の太さを工夫してある。</p> <p>○上巻の目次には、下巻の内容も掲載されている。</p> <p>○話す・聞く、読む、書くという各領域を示すマークがある。</p>	<p>○第5学年のP124「注文の多い料理店」では12枚あった挿絵が14枚になるなど、現行同一教材と比べて挿絵が少なくなっている。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 国 語 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各学年で「読むこと」から発展する探求的な学習が設定されている。さらに、児童が調べたことを伝え合う学習につなげている。</p> <p>○学習の流れを「たしかめよう」→「くわしくよもう」→「まとめよう」→「つたえあおう」と明確化している。</p> <p>○説明的文章では、グラフや図、絵を用い、読み解く力を児童に身につける指導につなげることができる。</p> <p>○「言葉の文化」という小単元で「我が国の言語文化に関する事項」を扱っている。</p>	<p>○「ことばの木」の項では、具体的にどの単元と結び付くのか説明されていない。</p> <p>○新出漢字では、教科書での読み方のみの記載である。音読み・訓読みの参考記載がない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第2～6学年は書く活動が5回以上設定されており、発達段階に合わせて分量が設定されている。</p> <p>○「○年生で学んだ漢字」では、イラストに既習漢字の読みを合わせることを通して、児童が視覚的に学ぶことができるようになっている。</p> <p>○説明的文章の内容や構成が明瞭である。また、指示語や接続語に注目して要約したり、内容を整理したりすることができる。</p>	<p>○前学年までの学習内容の記載がなく、各学年の学びの連続性がわからない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○第1学年上巻P28「くまさんとありさんのごあいさつ」のように会話文の文字の大きさを変えたり、吹き出しを多く用いたりしている。</p> <p>○二次元コード、SDGsマークが配置されている。特に二次元コードについてはコードの中央に動画、資料、ワークシートなどのマークを置き、リンク先のカテゴリ内容が事前に分かるようにしてある。</p> <p>○第2学年下巻のP20「この間に何があった？」や第6学年上巻のP38「雪は新しいエネルギー」のように、絵、図、表、写真等が、学ぶ内容に応じたものが配置されている。</p>	<p>○動画、資料、ワークシートなどの二次元コードが一つの単元に複数あるため、内容の精選をする必要がある。</p> <p>○挿絵について、イメージとして簡素化されているものと、写実的であるものの差が大きい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p> <p>○見やすさ読みやすさに配慮したオリジナルフォントが用いられている。</p> <p>○手紙を書く単元では、デジタル化に対応し、メールの送り方にも内容が及んでいる。</p>	<p>○他教科との関連について明確に示されていない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 国 語 】

発行者 【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○探求的な学習を取り入れ、「どうやって学んでいくのかな」という学び方の説明が最初に書いてあり、国語の学習の進め方が示されている。</p> <p>○各学年の導入部分には、友達と話す活動や声を出して読む活動が取り入れられている。</p> <p>○「読むこと」の学習では、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」という学習の流れが基本になっており、児童が学習の見通しをもてるようになっている。</p> <p>○学習の流れが板橋区授業スタンダードに沿ったものとなっている。また、前学年までの学習内容が巻頭「国語の学びを見わたそう」に示されており、確認しながら進めることができる。</p>	<p>○第6学年の書く領域が8教材取り上げられているように、記載されている内容が多い。</p> <p>○第4学年で自然科学を扱った文章は下巻P99「風船でうちゅうへ」だけであり、取り上げるジャンルに偏りがある。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第6学年のP76「デジタル機器と私たち」で、情報リテラシーの扱いを捉えながら提案文を書くなどの学習が取り入れられている。読書単元では、ユニバーサルデザインなど普遍的なテーマを取り扱っている。</p> <p>○単元の最後にある「たいせつ」はポイントを絞った簡潔な言葉で表現されており、単元で学んだ学習の要点や大切なことを確認できる。</p> <p>○巻末には「言葉の宝箱」をはじめとして、思考ツールなど考えを整理することに発達段階に応じて自ら取り組める内容が設定されている。</p>	<p>○文法を扱った単元に例文や挿絵の量が少ない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○各学年の発達段階に応じて、単元の最後にある「たいせつ」などのように大切なことが一目で分かるレイアウトが施されている。説明的文章、文学的文章ともに、イラストや挿絵、写真がある。</p> <p>○目次を見るとどのような領域の活動か分かるよう、マークと言葉で示されている。</p> <p>○新出漢字が熟語としても書き抜かれ、四角で囲まれているため分かりやすくおり、漢字の活用方法が分かりやすい。</p>	<p>○二次元コードが小さく、目立たない。</p> <p>○第6学年のP155「『鳥獣戯画』を読む」のように資料を読み取る教材にグラフや表が少ない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○文字や色がユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>○字の大きさ、字体、行間等が各学年に合わせてある。</p> <p>○第1学年の書く活動では、P14、15のように7ページ分実際に教科書に書き込めるようになっている。</p>	<p>○上巻には下巻の目次がなく、下巻には上巻の目次がない。また、本文と巻末の付録との関連が分からないページがある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 書 写 】

調査委員長

小宮 孝之

総 評

○東京書籍

- ・どの学年も巻頭に鉛筆や筆の持ち方や字を書く時の姿勢が示されるなど、基礎的な知識及び技能が習得できる内容である。
- ・理由や違いを考えたり、話し合ったりする活動が設定されているなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。
- ・第2学年から第6学年の巻頭には、「書写の学び方」が掲載されており、1単位時間の流れを把握できる構成になっている。
- ・一単位時間当たり、2ページ（見開き）で構成されている。右側に学習のポイント、左側に手本が示されている。
- ・「とん」「すう」「びたっ」など筆使いを音声化していて、筆の動かし方や力の入れ具合が分かりやすくなるよう、表記・表現が工夫されている。
- ・第2学年から第6学年の巻頭には、書字にまつわる出来事を扱った「おかしな○○」の欄が設けられ、子どもが困っている場面が掲載されており、学習する意義を捉えやすくしている。

○教育出版

- ・どの学年も巻頭に鉛筆や筆の持ち方や字を書く時の姿勢が示されるなど、基礎的な知識及び技能が習得できる内容である。また、消しゴムの使い方や一人一台端末使用時の姿勢などについても記載している。
- ・巻頭では、友達と関わりながら学ぶ様子が写真で示されるとともに、話し合ったりする活動が設定されるなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。
- ・第2学年から第6学年の巻頭には、「学習の進め方」が掲載されており、1単位時間の流れを把握できる構成になっている。
- ・一単位時間当たり、2ページから4ページで構成されている。第3学年から第6学年では、1ページ目に手本が大きく掲載されている。
- ・文字を三角形や四角形などの図形と併せて示すことで、文字のバランスが意識できるよう表記・表現が工夫されている。
- ・毛筆の学習が始まる第3学年の巻頭には、「なぜ毛筆を学習するの？」という漫画が紹介されており、毛筆を学習する意義を捉えやすくしている。

○光村図書出版

- ・どの学年の学習内容においても「たいせつ」の項目が設定され、その時間に身に付ける大切な知識・技能を確認できるなど、基礎的な知識及び技能が習得できる内容である。
- ・第3学年のP42「行の中心」の学習では、字の読みやすさについて理由も合わせて考えさせたりする活動を取り入れるなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。
- ・第3学年から第6学年の巻頭に「学習の進め方」が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階で示されており、1単位時間の流れを把握できる構成になっている。
- ・おおよそ一単位時間当たり、2ページ（見開き）で構成されている。学習したことを生かして鉛筆で書く活動が設定されている。
- ・毛筆の手本となる字は、共通して見開きの左側に掲載されるなど、表記・表現に工夫が見られる。
- ・第3学年から第6学年においては、毎時間学習の進め方が詳しく示されており、自学自習に生かすことができる。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 書 写 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○どの学年も巻頭に鉛筆や筆の持ち方や字を書く時の姿勢が示されるなど、基礎的な知識及び技能が習得できる内容である。</p> <p>○理由や違いを考えたり、話し合ったりする活動が設定されており、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。</p> <p>○「学びを生かそう」の欄を通して、これまでの学びを振り返ったり、今後に生かしたりできるようになっているなど、板橋区授業スタンダードに沿って主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○第1学年では、P4、5で鉛筆の持ち方を学び、P6、7で自分の名前を書くなど、スタートカリキュラムに沿った内容となっている。</p>	<p>○小筆の指導が第3学年の書き初め指導の直前となり、小筆を用いた書字の技能が書き初めに反映しづらい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第2学年から第6学年の巻頭には、「書写の学び方」が掲載されており、1単位時間の流れを把握できる構成になっている。</p> <p>○一単位時間当たり、2ページ（見開き）で構成されている。右側に学習のポイント、左側に手本が示されている。</p> <p>○第1学年では横書きノートの書き方、第6学年ではポスターの作り方など、他の学習や日常生活へつながる発展的な学習が設定されている。</p>	<p>○記号による振り返りのみで、児童が自ら言葉で振り返る構成にはなっていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○「とん」「すう」「びたっ」など筆使いを音声化していて、筆の動かし方や力の入れ具合が分かりやすくなるよう、表記・表現が工夫されている。</p> <p>○二次元コードが第1学年で21個、第2学年で19個、第3学年で27個、第4学年で24個、第5学年で23個、第6学年で21個掲載されている。</p> <p>○筆の穂先が朱色で表され、穂先の向きや通り道が分かりやすくなるよう工夫されている。</p>	<p>○手本として扱う文字に書き順が示されていないなど、表記に配慮が欠ける箇所がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第2学年から第6学年の巻頭には、書字にまつわる出来事を扱った「おかしな○○」の欄が設けられ、子どもが困っている場面が掲載されており、学習する意義を捉えやすくしている。</p> <p>○大きさはB5版で、第1学年は49ページで115グラム、第2学年は45ページで111グラム、第3学年は57ページで124グラム、第4学年は53ページで118グラム、第5学年は53ページで114グラム、第6学年は53ページで118グラムある。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを採用している。再生紙・植物油インキを使用している。</p>	<p>○目次の表記が小さく、1年間の学習内容の見通しを持ちづらい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 書 写 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○どの学年も巻頭に鉛筆や筆の持ち方や字を書く時の姿勢が示されるなど、基礎的な知識及び技能が習得できる内容である。また、消しゴムの使い方や一人一台端末使用時の姿勢などについても記載している。</p> <p>○巻頭では、友達と関わりながら学ぶ様子が写真で示されるとともに、話し合う活動が設定されるなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。</p> <p>○「ふり返ろう」の欄が設定されており、毎時間の学びを3段階で振り返ることができ、板橋区授業スタンダードに沿って主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○第2学年から第6学年では、授業の初めに試し書きとお手本を比較する活動が設定されており、児童一人ひとりが適切なめあてをもつことにつながる内容である。</p>	<p>○第3学年の指導内容で「反り」を扱っていない。</p>
構成・分量	<p>○第2学年から第6学年の巻頭には、「学習の進め方」が掲載されており、1単位時間の流れを把握できる構成になっている。</p> <p>○一単位時間当たり、2ページから4ページで構成されている。第3学年から第6学年では、1ページ目に手本が大きく掲載されている。</p> <p>○第1学年では横書きノートの書き方、第6学年ではリーフレットの作り方など、他の学習や日常生活へつながる発展的な学習が設定されている。</p>	<p>○手本が右ページにあったり、左ページにあたりして統一されていない。</p>
表記・表現	<p>○文字を三角形や四角形などの図形と併せて示すことで、文字のバランスが意識できるよう表記・表現が工夫されている。</p> <p>○二次元コードが第1学年で21個、第2学年で11個、第3学年で17個、第4学年で18個、第5学年で18個、第6学年で20個掲載されている。</p> <p>○筆のマークと数字で筆圧を表し、力の入れ具合が分かりやすくなるよう工夫されている。</p>	<p>○二次元コードについての説明が不十分で扱いにくい。</p>
使用上の便宜	<p>○毛筆の学習が始まる第3学年の巻頭には、「なぜ毛筆を学習するの？」という漫画が紹介されており、毛筆を学習する意義を捉えやすくしている。</p> <p>○大きさはB5版で、第1学年は49ページで114グラム、第2学年は41ページで91グラム、第3学年は61ページで124グラム、第4学年は61ページで124グラム、第5学年は53ページで111グラム、第6学年は53ページで111グラムある。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮している。ユニバーサルデザインフォントを採用している。再生紙・植物油インキを使用している。表紙には抗菌加工をしている。</p>	<p>○二次元コードをどのように活用するか説明が不十分であり、自学自習に生かしにくい。</p>

令和5年7月7日

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 書 写 】

発行者【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○どの学年の学習内容においても「たいせつ」の項目が設定され、その時間に身に付ける大切な知識・技能を確認できるなど、基礎的な知識及び技能が習得できる内容である。</p> <p>○第3学年のP42「行の中心」の学習では、字の読みやすさについて理由も合わせて考えさせたりする活動を取り入れるなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。</p> <p>○毎時間ねらいが明確に示されるとともに、ねらいに対して振り返ることができるようになっており、毎時間の学びを自己調整しながら、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○第1学年では、P1に自分の名前を書く、P8・9で鉛筆の持ち方を学ぶなど、スタートカリキュラムに沿った内容となっている。</p>	<p>○学習したことを生かして書くページでは、全ての学年でなぞるだけの活動になっている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第3学年から第6学年の巻頭に「学習の進め方」が「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の3段階で示されており、1単位時間の流れを把握できる構成になっている。</p> <p>○おおよそ一単位時間当たり、2ページ（見開き）で構成されている。学習したことを生かして鉛筆で書く活動が設定されている。</p> <p>○第1学年では横書きノートの書き方、第6学年ではパンフレットの作り方など、他の学習や日常生活へつながる発展的な学習が設定されている。</p>	<p>○「学習の進め方」に「振り返ろう」の段階が明示されていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○毛筆の手本となる字は、共通して見開きの左側に掲載されるなど、表記・表現に工夫が見られる。</p> <p>○二次元コードが第1学年で28個、第2学年で24個、第3学年で34個、第4学年で32個、第5学年で33個、第6学年で31個掲載されている。</p> <p>○第1学年から第3学年では、動物をモチーフとしたキャラクターが書字のポイントを分かりやすく示している。</p>	<p>○手本として扱う文字に書き順が示されていないなど、表記に配慮が欠ける箇所がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第3学年から第6学年においては、毎時間学習の進め方が詳しく示されており、自学自習に生かすことができる。</p> <p>○大きさはB5版で、第1学年は49ページで119グラム、第2学年は41ページで105グラム、第3学年は65ページで133グラム、第4学年は53ページで117グラム、第5学年は49ページで108グラム、第6学年は57ページで124グラムある。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインを採用している。ユニバーサルデザインフォントを採用している。環境に配慮した紙・植物油インキを使用している。第3学年以上では、SDGsに関連するテーマを幅広く取り上げている。</p>	<p>○巻頭の見開きページに「学習の進め方」「目次」「マークについて」等、多様な情報が盛り込まれすぎている。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
小 学 校 【 社 会 】

調査委員長

木村 道人

総 評

○東京書籍

- ・全学年、全単元（小単元）を通して、「つかむ」⇒「調べる」⇒「まとめる」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。
- ・「学びのポイント」は、板橋区授業スタンダードにおける「まとめ・振り返り／OUTPUT」として活用することができるような表記になっている。
- ・発展的な内容を扱う「ひろげる」が、第3学年3項目、第4学年9項目、第5学年17項目、第6学年15項目設けられている。
- ・単元末に「～を伝えよう」「～を話し合おう」といった学習活動が設定されており、問題解決的な学習を通して主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。
- ・巻頭に「○年生で学んだこと」「○年生で学ぶこと」、巻末に「○年生で学んだことをふり返ろう」のページがあり、全体の構成を見通せるように配慮されている。
- ・第5学年は上下の2分冊、第6学年は政治・国際編と歴史編の2分冊構成とされ、軽量化が図られている。

○教育出版

- ・単元を通して、「つかむ」「調べる」「まとめる」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。
- ・「やってみよう」は、板橋区授業スタンダードにおける「自力解決・集団解決／THINK」として活用することができるような表記になっている。
- ・発展的な内容を扱う「もっと知りたい」が、第3学年4項目、第4学年3項目、第5学年6項目、第6学年15項目設けられている。
- ・「～を説明しよう」「未来を考えよう」といった学習活動が設けられている単元があり、問題解決的な学習を通して主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。
- ・巻頭に「前の学年をふり返ろう」「社会科で使う見方・考え方」「他教科などとの関わり」「社会科の学習の進め方」、巻末に「○年生の学習をふり返ろう」のページがあり、全体の構成を見通せるように配慮されている。
- ・板橋区について、第3学年「事件や事故からまちを守る」P114～115、120で記載がある。第6学年の歴史単元で、白黒写真がカラーに修正されており見やすい。

○日本文教出版

- ・単元を通して「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追究・解決する力を身につけよう」という流れになっており学習の見通しをもちやすい。
- ・「やってみよう」は、板橋区授業スタンダードにおける「自力解決・集団解決／THINK」として活用することができるような表記になっている。
- ・「未来につなげるSDGs」といった発展的な内容が、第3学年4項目、第4学年5項目、5学年5項目、第6学年7項目設定されている。
- ・単元末の「自分たちにできることを考えよう」といった学習活動が設定されており、課題解決的な学習を通して主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。
- ・巻頭に「○年生の社会科の学習がはじまります!」「社会科の学習の進め方」、巻末に「○年生の学習をふり返って」「どんな力が身についたのかな」「○年生へ向かって」のページがあり、全体の構成を見通せるように配慮されている。
- ・板橋区の取組が、第3学年の「未来につなげる」P92～93の中で、「食べられずに捨てられてしまう食品をへらすために」というテーマで紹介されている。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 社 会 】

発行者【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○重要語句は「ことば」というコーナーに、グラフや地図の読み取り方は「学び方コーナー」にまとめられており、知識及び技能を習得できるように工夫されている。</p> <p>・第5学年P90のように、「まとめる」では、「新聞にまとめる」「プレゼンテーションソフトを使ってまとめる」「調べたことを整理して考えをまとめ話し合う」などの具体例が示されており、思考力、判断力、表現力を育むことができる内容である。</p> <p>○単元末に「～を伝えよう」「～を話し合おう」といった学習活動が設定されており、問題解決的な学習を通して、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。</p> <p>○第6学年政治・国際編P110の「中学校に向けて」というページは、小中一貫教育の充実につながる内容である。SDGsについて、第5学年下巻末資料、第6学年政治・国際編P96～97に記載されている。環境教育に関連する内容は、第4学年P44～53、64～71、第5学年下P100～125、第6学年P149に記載されている。「学びのポイント」は、板橋区授業スタンダードにおける「まとめ・振り返り／OUTPUT」として活用することができるような表記になっている。</p>	<p>○「まとめる」ページに書き込み式ワークスペースがあるが、ノート活用との両立は難しい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○単元を通して、「つかむ」⇒「しらべる」⇒「まとめる」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。</p> <p>○内容や分量に偏りはなく、学習指導要領の内容に照らして分量は適切である。</p> <p>○第5学年下P112～125のように、「いかす」「ひろげる」といった発展的な内容が、各単元で適切に設定されている。</p>	<p>○高学年は掲載された資料が多く、厳選して指導する必要がある。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○資料（写真・地図）、文字のサイズは、低学年ほど大きく、発達段階に応じて見やすい工夫がされている。第5学年下P8のように、ページ下部に「教科関連マーク」があり、教科等横断的な学習に役立てることができる。</p> <p>○デジタルコンテンツは、第3学年37個、第4学年41個、第5学年上35個、下28個、第6学年政治・国際編26個、歴史編28個掲載されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインされている。</p>	<p>○第3学年P82などのように、吹き出しの文字が小さい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○第3、4学年は、巻頭に「○年生で学んだこと」「○年生で学ぶこと」、巻末に「○年生で学んだことをふり返ろう」のページがあり、全体の構成を見通せるように配慮されている。</p> <p>○軽量の紙を使用し、第5、6学年は分冊にすることで、軽量化への配慮がされている。</p> <p>○折込のページは厚い紙が使用されており、製本に対する配慮がされている。</p>	<p>○第5、6学年は、分冊になっているため、全体の見通しがもちにくい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社 会 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○重要語句は「解説」というコーナー、グラフや地図の読み取り方は「読み取る」というコーナーにまとめられており、知識及び技能を習得できるように工夫されている。</p> <p>○第5学年P45のように、「表す」コーナーでは、表の整理のしかたや順位付け、リーフレットのつくり方等の具体例が示されており、思考力、判断力、表現力を育むことができる内容である。</p> <p>○「つなげる」というページで、「～を説明しよう」「これまでの学習をもとに未来を考えよう」といった学習活動が設けられている単元があり、問題解決的な学習を通して、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。</p> <p>○第6学年P291に「中学校になったら」という記述があり、小中一貫教育に充実につながる内容である。SDGsについて、第3学年162～163、第4学年P214～215、第5学年P103、119、171、235、245、250、第6学年P66、167、235、287に記載されている。環境教育に関連する内容は、第4学年38～49、60～71、76～77、第5学年P58～59、104～105、222～245、第6学年P228～229、280～281に記載されている。板橋区について、第3学年「事件や事故からまちを守る」P114～115、120で記載がある。</p>	<p>○重要語句の「解説」のコーナーが少なく、目立たない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○単元を通して、「つかむ」「調べる」「まとめる」という流れになっており、学習の見通しをもちやすい。第5学年では「自分で調べて考える」が設定され、情報活用能力の育成に役立つ。</p> <p>○学習指導要領の内容に照らして分量は適切である。</p> <p>○第5学年P201、207のように、「つなげる」「もっと知りたい」といった発展的な内容が設定されている単元がある。</p>	<p>○選択単元や発展的な内容について、ページの分量に偏りがある。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○写真やグラフなどの基礎的資料の量や内容、文章の記述が段階的に増えており、発達段階が考慮されている。第6学年の歴史単元で、白黒写真がカラーに修正されており見やすい。</p> <p>○デジタルコンテンツは、第3学年24個、第4学年40個、第5学年34個、第6学年49個掲載されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○第5学年P68のように、グラフが小さく読み取りにくいものがある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻頭に「前の学年をふり返ろう」「社会科で使う見方・考え方」「他教科などとの関わり」「社会科の学習の進め方」、巻末に「〇年生の学習を振り返ろう」のページがあり、全体の構成を見通せるように配慮されている。</p> <p>○全学年1冊にまとめられている。</p> <p>○折込のページは厚い紙が使用されており、製本に対する配慮がされている。</p>	<p>○分冊ではないため、第5学年と第6学年の教科書が分厚く重い。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 社 会 】

発行者 【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○重要語句は「キーワード」というコーナーに、グラフや地図の読み取り方については「読み取る」というコーナーにまとめられており、知識及び技能を習得できるように工夫されている。</p> <p>○第5学年P274のように、「表現する」コーナーでは、意見整理のしかたや話し合いのしかた、新聞のつくり方などの具体例が示されており、思考力、判断力、表現力を育むことができる内容である。</p> <p>○単元末の「未来につなげる」では、「自分たちにできることを考えよう」といった学習活動が設定されており、問題解決的な学習を通して、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる。</p> <p>○第6学年に「中学校に向かって」というページがあり、小中一貫教育に充実につながる内容である。SDGsについては、各単元末の「未来をつなげる」というページで、第3学年4項目、第4学年5項目、第5学年5項目、第6学年7項目設定されている。環境教育に関連する内容は、第4学年P156～159、第5学年P254～279、第6学年P52～57、264～265に記載されている。第3学年のP92～93では「未来につなげる」の中で、「食べられずにすてられてしまう食品をへらすために」というテーマで板橋区の取組が紹介されている。</p>	<p>○問題の発見、追及・解決といった学習過程が、ページ下部に書かれているため、わかりにくい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○単元を通して「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追究・解決する力を身につけよう」という流れや「学習問題づくり」という学習活動の設定により、学習の見通しをもちやすい。</p> <p>○内容や分量に偏りはなく、学習指導要領の内容に照らして分量は適切である。</p> <p>○「未来につなげるSDGs」といった発展的な内容が、各単元で適切に設定されている。</p>	<p>○第5学年P62のように、本文と資料、子どもたちのセリフの違いがわかりにくい。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○気づきの記述には「！」マーク、疑問の記述には「？」マークが記載されているため、視覚的に内容をとらえやすい。</p> <p>○デジタルコンテンツは、第3学年88個、第4学年93個、第5学年160個、第6学年180個掲載されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○デジタルコンテンツが多く、児童の負担が過重になる可能性がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻頭に「○年生の社会科の学習がはじまります!」「社会科の学習の進め方」、巻末に「○年生の学習をふり返って」「どんな力が身についたのかな」「○年生へ向かって」のページがあり、全体の構成を見通せるように配慮されている。</p> <p>○全学年1冊にまとめられている。</p> <p>○折込のページは厚い紙が使用されており、製本に対する配慮がされている。</p>	<p>○分冊ではないため、第5学年と第6学年の教科書が分厚く重い。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 地 図 】

調査委員長

木村 道人

総 評

○東京書籍

- ・現代的な諸課題に関する教科横断的な教科内容として、P 9 8、9 9 の見開きの大きな日本地図で日本の自然災害が掲載されている。
- ・「地図学習」として、地図のきまりや地図帳の使い方などについて P 9 ～1 4 で説明されている。特に P 1 4 では、縮尺 5 万分の 1、5 0 万分の 1、1 0 0 万分の 1、5 0 0 万分の 1 が同じ地点をもとに列挙され、それぞれの縮尺地図の用途について説明がされている。
- ・SDG s について P 9 6 に一覧を載せて、自分たちができることについて考えさせている。
- ・日本列島を概観するページからはじまり、その後、地方別に詳細な地図や世界地図、資料地図・統計表という構成になっている。
- ・日本地図に、歴史の舞台となった場所や建物などが青地の中に白抜き文字で掲載されている。また、歴史に関わる地図が年表と併せて 4 ページ(P 7 7 ～P 8 0) にわたり 7 種類掲載されている。

○帝国書院

- ・現代的な諸課題に関する教科横断的な教科内容として、「郷土や地域に関する教育」について日本の自然災害と防災に関する内容について P 9 9 ～1 0 2 にわたってまとめている。
- ・第 3 学年から地図帳を使った学習が行えるよう、「地図のやくそく」として地図、方位、地図記号、距離の求め方などを 1 0 ページ、「地図の使い方」を 4 ページにわたって解説している。
- ・SDG s について 2 ページ分の特設ページ、また、SDG s のマークで示された 5 種類の資料が掲載されており、板橋の i カリキュラム（環境教育）と関連付けて使用することができる。
- ・5 年生、6 年生の社会科学習で活用できる、地形、気候、過去の災害事例、防災、農水産業、工業・エネルギー、貿易・食料問題・観光に関する資料が掲載されている。
- ・近畿地方のページには、江戸時代の結びつきが分かる資料、日本の首都・東京のページでは、江戸時代後期古地図や当時の町の様子分かる資料が掲載され、第 6 学年の歴史学習に役立つ内容となっている。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 地 図 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○現代的な諸課題に関する教科横断的な教科内容として、P 9 8、9 9の見開きの大きな日本地図で日本の自然災害が掲載されている。</p> <p>○「地図学習」として、地図のきまりや地図帳の使い方などについてP 9～1 4で説明されている。特にP 1 4では、縮尺5万分の1、5 0万分の1、1 0 0万分の1、5 0 0万分の1が同じ地点をもとに列挙され、それぞれの縮尺地図の用途について説明がされている。</p> <p>○写真付きで日本固有の領土について記載している（P 1 9、P 2 5）。</p> <p>○SDG sについてP 9 6に一覧を載せて、自分たちができることについて考えさせている。</p> <p>○日本地図に、歴史の舞台となった場所や建物などが青地の中に白抜き文字で掲載されている。また、歴史に関わる地図が年表と併せて4ページ（P 7 7～P 8 0）にわたり7種類掲載されている。</p>	<p>○SDG sの記載がP 9 6の下部のみとなっており、世界のSDG sの取組については情報が無い。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○日本列島を概観するページからはじまり、その後、地方別に詳細な地図や世界地図、資料地図・統計表という構成になっている。</p> <p>○地図帳の使い方が8ページ、日本地図が3 8ページ、世界地図が1 4ページ、5年生、6年生の社会科学習で活用できる、地形、気候、農業、水産業、工業、交通、貿易に関する資料が1 0ページ、統計資料4ページ、総ページは1 0 2ページである。</p>	<p>○ホップステップマップでジャンプの回答について、4 7～7 0についてはデジタルコンテンツに掲載されているが、地図帳には記載されていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○ページ左上に、ものさしのイラストを表記し、地図上の1 c mが実際の5 k mであることを示し、実際の距離をイメージしやすくする工夫がされている。</p> <p>○二次元コードが3 6か所あり、47都道府県に特化したページや地図帳全体の活用、資料地図、統計表の詳細ページ、世界の白地図の資料で学ぶことができる。</p> <p>○環境に配慮した用紙や、植物油を使用し、ユニバーサルデザインフォントを採用している。</p>	<p>○P 4 6首都東京、P 4 3東京都とそのまわりなど、情報が過密になっており、発達段階を考えた時に分かりづらいと認識する児童がいる可能性がある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○A 4サイズで3 4 5 gである。</p> <p>○巻頭には様々な国の言語によるあいさつ、世界の地図では、世界の各地域の特色を紹介する写真が掲載される等、世界の文化について知ることができる。</p> <p>○「ホップ、ステップ、マップでジャンプ」で内容確認や内容理解につながる問題が掲載されており、自主学習にも活用できる。</p>	<p>○表紙、裏表紙ともに教科書と同じ印刷、厚さのため4年間継続して使用するには耐久性に不安がある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 地 図 】

発行者【 帝国書院 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○現代的な諸課題に関する教科横断的な教科内容として、「郷土や地域に関する教育」について日本の自然災害と防災に関する内容についてP99～102にわたってまとめている。</p> <p>○第3学年から地図帳を使った学習が行えるよう、「地図のやくそく」として地図、方位、地図記号、距離の求め方などを10ページ、「地図の使い方」を4ページにわたって解説している。</p> <p>○日本の領土とそのまわりとして、P31～32にわたり掲載しており、日本固有の領土について、写真を用いて解説をしている。</p> <p>○SDGsについて2ページ分の特設ページ、また、SDGsのマークで示された5種類の資料が掲載されており、板橋のiカリキュラム（環境教育）と関連付けて使用することができる。</p> <p>○近畿地方のページには、江戸時代の結びつきが分かる資料、日本の首都・東京のページでは、江戸時代後期古地図や当時の町の様子分かる資料が掲載され、第6学年の歴史学習に役立つ内容となっている。</p>	<p>○P7～16に3年生の学習に特化したページがあるが、4年から6年で使用しづらい内容となっている。</p>
構 成・ 分 量	<p>○「広く見わたす地図」として九州地方から北海道地方まで概観し、その後で、地方や都道府県ごとの詳しい地図が南から北まで配列している。</p> <p>○日本地図は48ページ、世界地図は14ページ、5年生、6年生の社会科学習で活用できる、地形、気候、過去の災害事例、防災、農水産業、工業・エネルギー、貿易・食料問題・観光に関する資料が14ページ、統計資料4ページあり、総ページ数は132ページである。</p>	<p>○日本の首都・東京では、板橋区や羽田空港までの範囲になっていない（P67・68）。</p>
表 記・ 表 現	<p>○ページ上部に「ものさし」として実際の距離をイメージしやすくする工夫がされている。</p> <p>○二次元コードが50か所あり、アクセスするとどのような資料が見られるのか、二次元コード横に記載してある。</p> <p>○特別支援教育やユニバーサルデザインの観点から、色覚特性に配慮した色づかいやユニバーサルフォントを採用したり、植物油インキで印刷をしたりしている。</p>	<p>○地図マスターの答えの文字や、p33の地図内のアルファベットの文字が小さく、児童によっては認識しづらい。</p>
使用上の 便 宜	<p>○A4判で重さは370gである。</p> <p>○巻頭には様々な国の言語によるあいさつ、また、P84～93で「集まれ！世界の子どもたち」「世界のSDGs」が6ページ掲載され、世界とのつながりを意識した情報が掲載されている。</p> <p>○「トライ！」や「地図マスターへの道」など、内容確認や内容理解に取り組むことができる問題が設定され、問題に関連する学年や学習内容、難易度が示されており、個に応じた自学自習に取り組むことができる。</p>	<p>○日本の統計では、帯グラフの読み取りが難しい児童への指導が必要である。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 算 数 】

調査委員長

荻久保 剛正

総 評

○東京書籍

- ・一単位時間ごとに？マークでめあてが設定されているとともに、「マイノートをつくろう」では、問題・めあて・自分の考え・他人の考え・まとめ・振り返りというノートの書き方が記載されており、板橋区授業スタンダードに沿っている。
- ・目次では「前の学習」、「後の学習」という欄が設けられ、第2～6学年の巻末には、「ふりかえりコーナー」があり、単元の系統性が分かるように記載されている。
- ・虫眼鏡の記号や太文字、下点線を用いながら、その学習で大切な数学的な見方・考え方が何かが分かるように記載されている。
- ・第1学年では、1冊目がA4判になっており、図もマスも大きく、入学時の児童に配慮している。

○大日本図書

- ・「算数の学び方」「じっくり深く学び合おう！」において、問題をつかもう・自分で考えよう・学び合おう・まとめよう・使ってみよう・振り返ろうの流れで行う問題解決型の授業が適宜設定されている。
- ・目次の単元に「前の学習」「後の学習」が記載され、また、数・計算、図形、整理の仕方、変わり方と学習の内容で色分けされており各学年の単元や系統性が分かるようになっている。
- ・第2～4学年に「ひらめきアイテムシール」がノート等に貼れるようになっていたり、第5～6学年に「ひらめきアイテム」として「もとにする重さのいくつ分で考える」等の視点が記載されたりと、6年間で身に付けさせたい数学的な見方・考え方の内容が発達段階に応じて表記されている。
- ・1年別冊教科書は、A4判で見やすく配慮されている。第2学年以降の教科書は、B5判1冊になっている。

○学校図書

- ・第3～6学年では「算数パトロール隊」において、児童のよくある間違いを取り上げ、正しい考え方とともに記載されており、思考力、判断力、表現力を育む工夫がされている。
- ・目次では「前の学習」、「後の学習」という欄を設けて、他学年の単元や同学年の単元のつながりが記載されており、単元の系統性、発展性に配慮されている。
- ・A B版の教科書のためB版よりページの広さがあり、ページの左端に矢印と学習内容の見出しで区切りを表しているためどの学習内容にあたる所か把握しやすい。
- ・第1～5学年は上・下巻の分冊、第6学年は別冊「中学校とのかけ橋」があり、サイズはA B判である。

○教育出版

- ・巻頭の「みんなで算数をはじめよう！」で示されている、問題をつかむ・自分の考えをもつ・話し合って深める・ふり返ってまとめる・比べてつなげる・広げて考える教科書の学習の流れは「板橋区授業スタンダード」に沿っている。
- ・第2学年以上の目次では、前の学年で学習した単元のつながりが記載されている。また、巻末の「学びのマップ」にて単元のつながりが記載されており、単元の系統性が把握できる。
- ・まとめにあたる部分は下地の淡い色を使いかつ枠を囲っており、見やすくなるよう工夫がされている。
- ・B5判の教科書で第2学年～4学年は、上・下巻に分かれている。

○新興出版社啓林館

- ・第2学年以上に掲載されている「算数ノートをつくろう」は、めあて、自分の考え、まとめ、ふりかえりという言葉が使用され、「板橋区授業スタンダード」に沿っている。
- ・目次では、各単元と既習事項とのつながりが記載され、また、第2～6学年の巻末には「学びをつなげよう」において、前の学年までの学習のまとめ等が記載されており、単元の系統性を考慮している。
- ・第2学年以上に掲載されている「算数ノートをつくろう」には、「めあて」「自分の考え」「まとめ」「ふりかえり」という言葉が使用されており、「板橋区授業スタンダード」に沿った授業展開とノートの作り方が記述されている。問題・めあてとまとめがそれぞれ色分けして表記されている。
- ・1年別冊教科書は、A4判、他はB5判の教科書で、第2～4学年は、上・下巻の分冊である。

○日本文教出版

- ・学習の進め方として、巻頭にどんな問題かな・考えよう・学び合おう・ふり返ろうが示され、巻末の「学びガイド」にも記載され、かつ下敷きの様に使用でき、「板橋区授業スタンダード」に沿った授業が実施しやすい。
- ・目次の各単元の左側に、前の学年に関連のある単元が記載されており、学習のつながりが分かるようになっている。
- ・見開きページの右上に単元名を記しているため、目次から本単元へ移行しやすくなっており、児童が学習内容を見通しやすい構成にしようと工夫されている。
- ・全学年B5判の教科書で、第1～4年までが2冊の分冊となっている。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 算 数 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○「たしかめよう」や「おぼえているかな」では、既習事項を振り返る課題があり、基礎的な知識及び技能を習得できるように配慮されている。</p> <p>○単元の導入では、日常生活のある場面を設定し、問いを立てるという内容になっており、児童が自然と興味・関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。</p> <p>○一単位時間ごとに？マークでめあてが設定されているとともに、「マイノートをつくろう」では、問題・めあて・自分の考え・他人の考え・まとめ・振り返りというノートの書き方が記載されており、板橋区授業スタンダードに沿っている。</p> <p>○第3～6学年の「今日の深い学び」では、学びを深める事例があり、課題解決型の学習につながっている。</p>	<p>○第4～6学年「プログラミングを体験しよう」では、プログラミング的思考よりプログラムの手順や操作が主に記述されている。</p>
構成・分量	<p>○目次では「前の学習」、「後の学習」という欄が設けられ、第2～6学年の巻末には、「ふりかえりコーナー」があり、単元の系統性が分かるように記載されている。</p> <p>○見開き2ページ又は1ページにおいて、おおむねめあてからまとめまでの1単位時間に扱う分量が記載されている。</p> <p>○発展的内容にあたる「いかしてみよう」「考える力をのばそう」「算数で読みとこう」は、第3学年から取り上げられ、発達段階に考慮されている。また、第6学年では数学の世界での事象も取り上げて、児童が円滑な数学への発展を図れるように配慮した構成になっている。</p>	<p>○学習のしあげの活用問題「いかしてみよう」は、関連のある既習事項の確認ができるページの記載がない。</p>
表記・表現	<p>○虫眼鏡の記号や太文字、下点線を用いながら、その学習で大切な数学的な見方・考え方が何かが分かるように記載されている。</p> <p>○定義や性質等が黄色の網掛けで表記されており、一目で分かるように工夫されている。また、文章や式、考え方等のまとまりが線で区切られており、読みやすい工夫がされている他、四角囲みや丸囲みの番号等を使い分けながら、問題解決の過程を見通せる表記になっている。</p> <p>○二次元コードの数は、第1学年が合計21個、第2学年が115個、第3学年が150個、第4学年が163個、第5学年168個、第6学年が122個の記載がある。</p>	<p>○問題、課題、まとめの色分けが「緑」で統一表記されている分、区別がつきにくい。</p>
使用上の便宜	<p>○第1学年では、1冊目がA4判になっており、図もマスも大きく、入学時の児童に配慮している。第1学年の2冊目以降は、全学年B5判であり、第6学年以外は、上・下巻の分冊である。第1学年は合計169ページ、第2学年は合計250ページ、第3学年は合計274ページ、第4学年は合計304ページ、第5学年は合計294ページ、第6学年は269ページである。</p> <p>○第4～6学年では、巻頭に著名な方の仕事と算数のつながりを示し、また第3～6学年の表紙は算数の学習につながる作品と裏表紙にはその作者から作品の意図等が示されている。</p> <p>○ユニバーサルデザイン教科書体を使用している。また、グリーンプリンティング認定工場で印刷されている。</p>	<p>○全学年で統一して登場するキャラクターは、外国籍の子どもへの配慮がほしい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 算 数 】

発行者【 大日本図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○数と計算分野において、単元の間にある「練習」ページが設定され、基礎的な知識及び技能が習得できる作りになっている。</p> <p>○「ノート書き方の例」では、問題、めあて、見通し、自分の考え、友達の考え、まとめ、ふりかえりと記載されており、板橋区授業スタンダードに沿っている。</p> <p>○「算数の学び方」「じっくり深く学び合おう!」において、問題をつかもう・自分で考えよう・学び合おう・まとめよう・使ってみよう・振り返ろうの流れで行う問題解決型の授業が適宜設定されている。</p> <p>○第1～6学年まで「読み取る力をのばそう」があり、「読み解く力」に関わる内容が記載されている。</p>	<p>○全学年において、一単位時間のまとめにあたる部分が「発見」として記載されており、板橋区授業スタンダードと構成は同じだが、一部表現は合っていない。</p>
構 成・分 量	<p>○目次の単元に「前の学習」「後の学習」が記載され、また、数・計算、図形、整理の仕方、変わり方と学習の内容で色分けされており各学年の単元や系統性が分かるようになっている。</p> <p>○見開き2ページ又は1ページにおいて、おおむねめあてからまとめまでの1単位時間に扱う分量が記載されている。</p> <p>○「ふくろう先生」のなるほど算数教室」として、算数の学習に興味関心を高められるような問題を掲載している。</p>	<p>○第6学年「対象な図形」の導入では、身近な整った形の写真を掲載しているが、課題ではアルファベットを扱っており、つながりが薄い。</p>
表 記・表 現	<p>○第2～4学年に「ひらめきアイテムシール」がノート等に貼れるようになっていたり、第5～6学年に「ひらめきアイテム」として「もとにする重さのいくつ分で考える」等の視点が記載されたりと、6年間で身に付けさせたい数学的な見方・考え方の内容が発達段階に応じて表記されている。</p> <p>○新出用語は太い黒文字で書かれていることや、問題が囲みではなく、下地の色を変えているなど、他の文章と区別しやすい工夫がされている。</p> <p>○二次元コードの数は、第1学年が合計88個、第2学年が136個、第3学年が164個、第4学年が152個、第5学年165個、第6学年が138個の記載がある。</p>	<p>○巻末の索引は、第2学年以上から登場するが、漢字に振り仮名が振られていない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○1年別冊教科書は、A4判で見やすく配慮されている。第2学年以降の教科書は、B5判1冊になっている。第1学年は合計182ページ、第2学年は249ページ、第3学年は271ページ、第4学年は291ページ、第5学年は293ページ、第6学年は273ページである。</p> <p>○全学年で統一して登場するキャラクターは、外国籍の子どもに配慮されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○第2学年以降1冊でまとめられているため、1学年で2冊に分かれている教科書より重い。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 算 数 】

発行者【 学校図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第2～4学年では、筆算のしかたについて、絵や言葉を使い、視覚的に分かるよう記載しており、基礎的な知識及び技能を習得しやすい工夫がある。</p> <p>○「ノート名人になろう」では、問題、めあて、自分の考え、友だちの考え、まとめ、ふりかえり、というノートの書き方が記載されており、板橋区授業スタンダードに沿っている。</p> <p>○第3～6学年では「算数パトロール隊」において、児童のよくある間違いを取り上げ、正しい考え方とともに記載されており、思考力、判断力、表現力を育む工夫がされている。</p> <p>○第2～6学年では「算数をつかって」ではSDGsに関連させ、算数を活用しながら社会や世界を見つめる内容になっている。</p>	<p>○「まなびをいかそう」では、問題に関連する学習内容のページの記載がなく、どの学習内容が基礎・基本となっているのかが分かりづらい。</p>
構成・分量	<p>○目次では「前の学習」、「後の学習」という欄を設けて、他学年の単元や同学年の単元のつながりが記載されており、単元の系統性、発展性に配慮されている。</p> <p>○見開き2ページ又は1ページにおいて、おおむねめあてからまとめまでの1単位時間に扱う分量が記載されている。</p> <p>○第1～6学年では「すじ道を立てて考えよう」において、コンピュータの使用に限らないプログラミング的思考を育むプログラミング学習が扱われている。</p>	<p>○巻末の「この本で出てきたことば」に、ふりがなが無い。</p>
表記・表現	<p>○第2～6学年巻頭に「○年生で見つきたい見方・考え方」のページがある。また「考え方モンスターでふりかえろう！」等で、算数の大切な見方・考え方をモンスターで表記し、親しみやすい工夫がある。</p> <p>○二次元コードの数は、第1学年が合計63個、第2学年が合計109個、第3学年が合計102個、第4学年が合計86個、第5学年が合計92個、第6学年が52個の記載がある。</p> <p>○AB判の教科書のためB判よりページの広さがあり、ページの左端に矢印と学習内容の見出しで区切りを表しているためどの学習内容にあたる所か把握しやすい。</p>	<p>○二次元コード掲載数が100を超える学年が第2学年と第3学年のみである。</p>
使用上の便宜	<p>○第1～5学年は上・下巻の分冊、第6学年は別冊「中学校とのかけ橋」があり、サイズはAB判である。第1学年は合計205ページ、第2学年は306ページ、第3学年は311ページ、第4学年は337ページ、第5学年は342ページ、第6学年は合計308ページである。</p> <p>○第5学年以上の索引には、外国語の学習と関連させて、算数用語の英語表記も記載されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○教科書がAB判となっているので、教科書とノートを机の上において学習する際に幅をとる。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 算 数 】

発行者【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○単元末に「ふりかえろう」「たしかめよう」とそれぞれ1ページ程度既習事項の確認にあたる問題があり、基礎的な知識及び技能を習得できる工夫がある。</p> <p>○第1学年では、数を数える学習で、アサガオの花や種の数を探る学習があり、生活科と関連させる内容となっている。また、巻末に「自分で取り組むページ」があり、家庭学習に活用しやすく、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫がある。</p> <p>○「はてな」「だったら」において一単位時間の学びをさらに深める問いを示すことを通して、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育む工夫がされている。</p> <p>○巻頭の「みんなで算数をはじめよう！」で示されている、教科書の学習の流れは「板橋区授業スタンダード」に沿っている。</p>	<p>○示されている学習の流れは、板橋区授業スタンダードと構成は同じだが、一部表現は合っていない。</p>
構 成・ 分 量	<p>○第2学年以上の目次では、前の学年で学習した単元のつながりが記載されている。また、巻末の「学びのマップ」にて単元のつながりが記載されており、単元の系統性が把握できる。</p> <p>○数と計算領域の練習問題では本時での基礎的な学習内容、またそれを少し応用させた内容と、内容を削ぐことなく、学習時間に適合する分量で配慮されている。</p> <p>○第2～6学年では「算数を使って考えよう」において、第3～6学年では「広がる算数」において発展的な内容を掲載しており、身の回りの生活や環境に即した課題が取り上げられている。</p>	<p>○単元の確認問題にあたる巻末の「ステップアップ算数」は、全単元で取り扱っているが、単元ごとに分量の差がある。</p>
表 記・ 表 現	<p>○第6学年「対称な図形」、第4学年「立体」、第5学年「四角形や三角形の面積」等では4色程度で色分けされた図形が活用されており、区別しやすい表記になっている。</p> <p>○まとめにあたる部分は下地の淡い色を使いかつ枠を囲っており、見やすくなるよう工夫がされている。</p> <p>○二次元コードの数は、第1学年が10個、第2学年が合計73個、第3学年が合計109個、第4学年が合計144個、第5学年が合計104個、第6学年が86個の記載がある。</p>	<p>○第2学年「なんじなんぷん」の時計のめもりが時計の枠と同系色で見えづらい。</p>
使用上の 便 宜	<p>○B5判の教科書で第2学年～4学年は、上・下巻に分かれている。第1学年は188ページ、第2学年は合計281ページ、第3学年は合計306ページ、第4学年は合計354ページ、第5学年は312ページ、第6学年は290ページである。</p> <p>○第2学年以降の巻末には「学びの手引き」というページがあり、第4学年では、数直線のかき方、分度器の使い方、垂直のかき方など、復習できる。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮され、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○全学年で統一して登場するキャラクターは、外国籍の子どもへの配慮がほしい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 算 数 】

発行者【 新興出版社啓林館 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第2～5学年では「もうすぐ○年生」として、第6学年では「6年のまとめ」として、各学年における基礎的な知識及び技能を習得する内容の問題がまとめて掲載されている。</p> <p>○第2学年以上に掲載されている「算数ノートをつくらう」は、めあて、自分の考え、まとめ、ふりかえりという言葉が使用され、「板橋区授業スタンダード」に沿っている。</p> <p>○各単元末に「たしかめよう・ふりかえろう・やってみよう」があり、本単元の学習内容を活用して問題を解決できる問題が設定され、児童に思考力・判断力・表現力等を育成する内容である。</p> <p>○第3～6学年では巻末に「わくわくSDGs」において算数で学んだことを活用して生活に生かせる活動等が紹介されている。</p>	<p>○児童のよくある間違い例等のつまづきを想定した記載がほぼなく、児童も教師も学習内容における留意点を把握しづらい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○目次では、各単元と既習事項とのつながりが記載され、また、第2～6学年の巻末には「学びをつなげよう」において、前の学年までの学習のまとめ等が記載されており、単元の系統性を考慮している。</p> <p>○巻末にまとめて掲載されている「もっと練習」のページが一単位時間ごとに内容に合わせて示され、習熟度に合わせられるよう工夫された分量となっている。</p> <p>○第2～6学年では「見方・考え方を深めよう」にて、身の回りの生活に即した課題解決型の学習につながる発展的な内容が記載されており、発達段階に合わせた出題数になっている。</p>	<p>○第6学年「対象な図形」の導入では、身近な整った形の写真を掲載しているが、課題ではアルファベットを扱っており、つながりが薄い。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○テープ図、線分図、関係図、表などの書き方が巻末の「学びをつなげよう」に記載され、それに対応する図等が一単位時間の学習内容に使用されている。</p> <p>○課題を解決するためのヒントの吹き出しが記載され、必要な見方・考え方が網掛けで記載されている。</p> <p>○二次元コードの数は、第1学年が合計77個、第2学年が合計136個、第3学年が合計139個、第4学年が合計131個、第5学年が127個、第6学年が91個の記載がある。</p>	<p>○第2学年の上巻P74・78・79の図は、色が5色使用されており、数えにくい。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○1年別冊教科書は、A4判、他はB5判の教科書で、第2～4学年は、上・下巻の分冊である。第1学年は合計192ページ、第2学年は合計301ページ、第3学年は合計276ページ、第4学年は合計293ページ、第5学年は281ページ、第6学年は271ページである。</p> <p>○第4学年では付録として分度器があり、使用頻度の限られる教具に対する配慮がなされている。また、第5学年では、「円周測定マシン」があり円周をmm単位まで測定することができる等の工夫がある。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。また、メディアユニバーサルデザイン協会の認証を申請している。</p>	<p>○巻頭に記載されている「学習の進め方」が板橋区授業スタンダードに合っているものの、一単位時間の内容の中に「どんな問題かな」「自分で考えよう」「みんなで話し合おう」「たしかめようふりかえろう」の記載がない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 算 数 】

発行者【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○単元の導入直前に「次の学習のために」として、既習事項の確認になっており、新しい学習の前に基礎的な知識及び技能を習得できる工夫がある。</p> <p>○単元の終わりに「まちがしやすい問題」「見方・考え方をみがこう」が設定され、考えの根拠を説明させる等の思考力、判断力、表現力等を育むことができる内容である。</p> <p>○学習の進め方として、巻頭にどんな問題かな・考えよう・学び会おう・ふり返ろうが示され、巻末の「学びガイド」にも記載され、かつ下敷きの様に使用でき、「板橋区授業スタンダード」に沿った授業が実施しやすい。</p> <p>○巻末の「算数マイトライ」では、3段階で問題が設定され、児童が自分の習熟度に合った問題を選択しやすいように工夫されており、主体的に学習に取り組む態度を養う工夫がある。</p>	<p>○一単位時間において、めあてからまとめまでの過程が簡素で、問題解決の過程が分かりにくい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○目次の各単元の左側に、前の学年で関連のある単元が記載されており、学習のつながりが分かるようになっている。</p> <p>○第3学年以降に、「倍」に特化した単元が設定され、割合等の単元のつながりに工夫がある。</p> <p>○全学年に「レッツプログラミング」が設定され、フローチャートを使用したプログラミング的思考を育む内容やコンピュータを使用する内容等掲載されている。</p>	<p>○1ページの情報量が多く、ページによっては問題、めあて、まとめが全て書かれている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○一単位時間の「めあて」「まとめ」が同色で目立つように書かれていたり、問題と問題の間隔を取ったりして見やすく表記されている。</p> <p>○見開きページの右上に単元名を記しているため、目次から本単元へ移行しやすくなっており、児童が学習内容を見通しやすい構成にしようと工夫されている。</p> <p>○二次元コードの数は、第1学年が合計71個、第2学年が合計140個、第3学年が合計165個、第4学年が合計158個、第5学年が153個、第6学年が111個の記載がある。</p>	<p>○第3学年上巻の「あまりのあるわり算」P84で、ふくろが見えにくく、同じ数ずつ分けていることが分かりにくい。</p>
使用上の便宜	<p>○全学年B5版の教科書で、第1～4年までが2冊の分冊となっている。第1学年は合計193ページ、第2学年は合計301ページ、第3学年は合計317ページ、第4学年は合計338ページ、第5学年は325ページ、第6学年は295ページである。</p> <p>○第5・6学年の教科書には、ひもが付属されており、学習している所にはさむとしおりになる。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。また、環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用している。</p>	<p>○全学年で統一して登場するキャラクターの国籍に偏りがあり、外国籍の子どもへの配慮がほしい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
小 学 校 【 理 科 】

調査委員長

橋本 暁

総 評

- 東京書籍
 - ・問題解決のプロセスとして、問題をつかもう、問題、予想しよう、計画しよう、観察・実験、考えよう（考察しよう）、まとめ、広げよう理科の発想、次の問題を見つけようとなっている。
 - ・単元はじめの「思い出そう」では、理科やほかの教科で学んだこと・生活経験をもとに考えることができるようにしている。巻末「理科の調べ方を身につけよう」では、発達段階に応じたノートのかき方や使用する実験器具の使い方、発表の仕方などが示されている。
 - ・デジタルコンテンツにより、学びを広げることができる。コンテンツの数は、発行者の中で最も多い。
 - ・写真、イラスト、活字の大きさ、文字量、色調等が適切でユニバーサルデザインに対応している。
- 大日本図書
 - ・問題解決のプロセスとして、問題を見つけよう、問題、予想しよう、計画をたてよう、調べよう、記録しよう、考えよう、まとめようとなっている。
 - ・巻末の「理科の学びに役立てよう」では、第5学年P173のように、下学年からの学習のつながりや、教科横断的な学びを意識した内容になっている。巻末の「〇年生になったら」「中学生になったら」では、上位学年へのつながりを意識させるページが設定されている。
 - ・巻末の「理科のノートの書き方」や「記録と整理のしかた」では、発達段階に応じた表現を使用したり、学習内容に即した内容になっていたりする。全てページ番号の横に二次元コードがあるので、児童が見付けやすく、使いやすい。
 - ・色調、活字の分量、大きさ等が適切でユニバーサルデザインに対応している。
- 学校図書
 - ・問題解決のプロセスとして、みつける、予想する、計画を立てる、調べる、整理する、結果から考える、まとめる、いかすとなっている。
 - ・第5学年P16、17のように、実験後に「やってみよう」、「もっとしりたい」のコーナーで学習事項を生かした発展的問題や実験が紹介されている。巻末の「考えよう調べよう」のコーナーで、問題の見付け方・考察の書き方が具体的に書かれている。
 - ・巻末の「考えよう調べよう」では、みつける、伝える・聞く、記録する、調べる（図書館を使う、ICTを使う）、理科室の使い方、当該学年で主に使用する実験道具の使い方が載っている。
 - ・色調、活字の分量、大きさ等が適切でユニバーサルデザインに対応している。裏表紙に、SDGsとの関連性を示している。
- 教育出版
 - ・問題解決のプロセスとして、見つけよう、問題、予想しよう、計画しよう、観察・実験（ほかに資料調べ）、結果から考えよう、結論、学びを広げよう、新たな問題を見つけるとなっている。
 - ・巻頭の学習の進め方では、学年の発達段階に合わせた理科の見方や考え方が身に付けられるような系統性がある。
 - ・巻末に、使い方・調べ方（写真や動画のとり方、実験器具の使い方、観察カードのかき方、理科室の使い方）、科学館や博物館の利用、算数とのつながり、〇年で学んだことが載っている。
 - ・学習者にマークでICT機器やコンピューターを活用した調べ学習の仕方を示している。また、ユニバーサルデザインに対応している。
- 新興出版社啓林館
 - ・問題解決のプロセスとして、問題をつかもう、問題、予想、計画、観察実験、結果、考察しよう（結果から考えよう）、まとめ、もっと知りたい、次の問題へととなっている。
 - ・巻末の「理科の見方」「理科の考え方」では、学年の発達段階に合わせた理科の見方や考え方が身に付けられるような系統性がある。
 - ・巻末に、かく（記録のかき方、ノートのまとめ方）、伝える、施設の利用、算数の窓、ものづくり広場、理科の見方・考え方が載っている。
 - ・巻頭に、「季節ごよみ」があり、学習に必要な植物栽培についての見通しを持ちやすい。活字の大きさ、字体、行間、色調が適切である。色彩等が適切でユニバーサルデザインに対応している。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭の「理科の学び方」では、問題解決のプロセスが明記しており、それに沿って内容が展開されている。</p> <p>○第6学年P33のように、「広げよう！理科の発想」は、学習事項を活用し、自ら考えることで思考力、判断力、表現力が育成できる。</p> <p>○単元のまとめ「たしかめよう」では、教科書に直接書き込めるようになっている。</p> <p>○巻末には、「理科の調べ方を身につけよう」で基礎的な技能がまとめられている。また、第3学年P174のように、理科とSDGsの関連を示すページがあり、第3学年の教科書で扱われている生き物について触れるなど、環境教育との関連性が意識できる。</p>	<p>○イラストキャラクターの吹き出しで、思考の様子がはっきりと表現されているので、そこだけをなぞって授業が進んでいくと思考力の育成につながらない。</p>
構成・分量	<p>○単元のはじめの「思い出そう」で、関連する既習事項を想起しやすくなっており、下学年からの学習のつながりや系統性がわかる。</p> <p>○巻末「1年間をふりかえろう」では、学習した理科の言葉を示すなど、学習内容の復習ができるようになっている。</p> <p>○第6学年P67のように、発展的内容は「理科の世界 探検部」に掲載されており、学習内容と身の回りの生活や社会との関連や中学校での学びへのつながりを意識した構成になっている。</p>	<p>○各単元のたしかめようのページは、文字が多い。</p>
表記・表現	<p>○巻末「理科の調べ方を身につけよう」では、発達段階に応じたノートのかき方や使用する実験器具の使い方、発表の仕方などが示されている。</p> <p>○デジタルコンテンツにより、学びを広げることができる。デジタルコンテンツの数は、第6学年約370個、第5学年約290個、第4学年約410個、第3学年約310個である。</p> <p>○字体、行間、色調も適切である。安全面の注意事項が、第6学年P11のように、赤字吹き出し「きけん」で強調されている。重要語句が、太字と緑色の下線で強調されている。</p>	<p>○第5学年P120に授乳中の様子の写真があり、指導の際に配慮が必要である。</p>
使用上の便宜	<p>○目次が裏表紙にあり、全体の構成が見通せる。</p> <p>○サイズ：縦29.8cm、横21cm、厚さ0.7～0.8cm、重量：第6学年439g、第5学年374g、第4学年437g、第3学年392g</p> <p>○ユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォント採用、軽量の紙の使用、再生紙・植物油インキ使用、環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷されている。</p>	<p>○縦に長く、机上で場所をとってしまう。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 理 科 】

発行者【 大日本図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭の「理科の学び方」では、児童が問題解決の流れを把握しやすくなっていて、「〇年では特にココ！」のコーナーで、学年ごとに学ばせたい理科の力を提示している。</p> <p>○第6学年P14のように、考察の場面では、話し合いの場面が設定されていて、思考力、判断力、表現力が育成できる内容である。</p> <p>○単元導入の見開き2ページでは、事象を比較させることにより、児童が問題を見つけやすくなっている。</p> <p>○第3学年P11のように、SDGsについて触れており、生き物の多様性等の視点から、環境教育との関連性が示されている。</p>	<p>○第3学年「しぜんのかんさつ」では、生き物図鑑が巻末にあり、学習の流れの中で確認しにくい。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○巻末の「理科の学びに役立てよう」では、第5学年P173のように、下学年からの学習のつながりや系統性、教科横断的な学びを意識した内容になっている。</p> <p>○第6学年P7のように、事象提示に対する児童の反応や、問題解決の過程における児童の反応などがイラストで表現されていて、学習の見通しがもちやすくなっている。</p> <p>○巻末の「〇年生になったら」「中学生になったら」では、上位学年へのつながりを意識させるページが設定されている。</p>	<p>○第5学年P142「電磁石の性質」、第6学年P8「ものの燃え方」の最初の学習の予想・計画が省略されている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○巻末の「理科のノートの書き方」や「記録と整理のしかた」では、発達段階に応じた表現を使用したり、学習内容に即した内容になっていたりする。</p> <p>○実験結果・道具の使い方等を二次元コードで確認できる。また、全てページ番号の横に二次元コードがあるので、児童が見付けやすく、使いやすい。デジタルコンテンツの数は、各学年約250個である。</p> <p>○登場するキャラクターでは、人権に対する配慮がなされている。</p>	<p>○巻末にエネルギー領域は紫色、物質領域は赤色、生命領域は黄色、地球領域は緑色で色分けされたページがあるが、その配色が他のページには適用されていない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○目次はP3の右に記載され、全体の構成が見通せるようになっている。</p> <p>○サイズ：縦29.8cm、横21cm、厚さ0.7～0.8cm、重量：第6学年531g、第5学年454g、第4学年526g、第3学年473g</p> <p>○ユニバーサルデザインフォント採用、環境に配慮した紙と植物油インキ使用、表紙は丈夫で汚れにくくなるよう加工し、光媒体を利用した抗菌・抗ウイルス処理をしている。</p>	<p>○縦に長く、机上で場所をとってしまう。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

発行者 【 学校図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○問題解決のプロセスが問題を見付けることに始まり振り返りまで適切に構成されている。</p> <p>○巻頭の「科学の芽を育てよう」では、「みつけよう」「調べよう」「まとめよう」の流れで問題解決のプロセスが提示されている。</p> <p>○単元末の「できるようになった」では、「学びに向かう力・人間性等」の自己調整しながら学習を進めていくことを意識した記述となっている。</p> <p>○第6学年P212のように、「持続可能な社会へ」という学習内容があり、環境問題について考える機会が設定されている。</p>	<p>○巻末「理科の世界をふりかえろう」では、「科学の芽」に対する振り返りはあるが、内容に対する振り返りはない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第6学年P231のように、年度末に進むにしたがって、「いかすヒツジ」に関する内容に重点がおかれ、児童の問題解決能力が向上していくように系統立てて単元の配列がなされている。</p> <p>○第5学年P16、17のように、実験後に「やってみよう」、「もっとしりたい」のコーナーで学習事項を生かした発展的問題や実験が紹介されている。</p> <p>○巻末の「考えよう調べよう」のコーナーで、問題の見付け方・考察の書き方が具体的に書かれている。</p>	<p>○巻頭の「科学のめを育てよう」で、児童に身に付けさせたい力を興味・関心をひくように工夫されているが、教師の活用の仕方によっては、児童自らねらいを意識して取り組むのは難しい。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○巻末の「考えよう調べよう」では、発達段階に応じたノートのかき方や使用する実験器具の使い方、学習のまとめ方などが示されている。</p> <p>○巻末に二次元コードでデジタルコンテンツの目次が開け、一覧から動画や確認テストを開くことができるようになっている。デジタルコンテンツの数は、第6学年約150個、第5学年約100個、第4学年約140個、第3学年130個である。</p> <p>○巻末の「理科室の使い方」では、実験器具の使い方を手順ごとに写真を掲載しながら説明していて、児童が視覚的に分かりやすくなっている。</p>	<p>○第5学年P170に授乳中の様子の写真があり、指導の際に配慮が必要である。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○裏表紙に目次があり、全体の構成が分かる。また、SDGsとの関連性も示してある。</p> <p>○サイズ：縦25.7cm、横21cm、厚さ0.8cm、重量：第6学年532g、第5学年447g、第4学年474g、第3学年427g 教科書のサイズが他社に比べて小さい。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォント採用、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた色使いやレイアウト、環境に配慮した紙と植物油インキ使用している。</p>	<p>○第4学年P142、143「金ぞくの体積と温度」や第5学年P156、157「水溶液にとけているものを取り出すには」などの学習で、問題から結論までが同じ見開きにあり、問題解決学習がしにくい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭の「学習の進め方」では、問題解決のプロセスが明記しており、それに沿って内容が展開されている。また、P2には、前学年の学習についてふれられており、学習のつながりがわかる。</p> <p>○第6学年P10のように、問題解決の過程の中で話し合いの場面が設定され、イラストとともに展開されている。</p> <p>○第6学年P8のように、各単元のはじめにある「学習のつながり」では、他学年や中学校での学習と関連付けられている。</p> <p>○第6学年P202のように、二酸化炭素を増やさない取り組みに関する記載があり、SDGsや環境教育との関連性が意識できる。</p>	<p>○イラストキャラクターの吹き出しで、思考の様子がはっきりと表現されているので、そこだけをなぞって授業が進んでいくと思考力の育成につながらない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○巻頭の学習の進め方では、学年の発達段階に合わせた理科の見方や考え方が身に付けられるような系統性がある。</p> <p>○第6学年P5やP99のように、国語や算数で学んだことを生かそうという記述があり、教科横断的な視点が入り込められている。</p> <p>○第6学年P31のように「はってん」として、中学校のどの学年で学習するのかが書かれているので、学習に見通しがもてる。</p>	<p>○6ページ目の「学習の進め方」においては、第3学年と第4学年にとって、文字の量が多い。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○巻末の「〇年で学んだこと」では、当該学年での学びを振り返り、次の学年へのつながりを意識できる。</p> <p>○二次元コードだけでなく、SDGsのアイコンも適宜掲載されている。デジタルコンテンツの数は、第6学年約70個、第5学年約70個、第4学年50個、第3学年約40個である。</p> <p>○文字の大きさや写真の大きさ、量が適切である。第5学年P34や37のように安全面の注意事項が、赤色で強調されている。</p>	<p>○第5学年P177、186授乳中の様子の写真があり、指導の際に配慮が必要である。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○P4に目次があり、全体の構成が分かるようになっている。学習者にマークで二次元コードを活用した調べ学習の仕方を示している。</p> <p>○サイズ：縦27.3cm、横21.1cm、厚さ0.8cm、重量：第6学年481g、第5学年448g、第4学年496g、第3学年417g。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォント採用、ユニバーサルデザインの配慮、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用している。表紙には抗菌加工をしている。</p>	<p>第6学年「人や他の動物の体」のP42～45は、教科書の向きを変える必要がある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 理 科 】

発行者 【 新興出版社啓林館 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭に「理科の楽しみ方」として、問題解決の過程が示されており、それに沿って内容が展開されている。また、単元末の「活用しよう」の練習問題で、思考力を確認できる。</p> <p>○巻頭の「学びの中でICTを活用してみよう」で、活用の場面や効果を具体的に示し、主体的な学びを促している。</p> <p>○問題づくりや予想、考察など、児童が思考する場面では、イラストによる例示が豊富である。</p> <p>○第6学年P190「くらしとリンク」では、学習内容と環境との関連が意識できるようになっており、環境教育との関連性が意識できる。</p>	<p>○第5学年P95のように、「思い出そう」で既習事項を確認しているが、その内容が具体的ではないことや、生活経験に触れていないことがある。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○巻末の「理科の見方」「理科の考え方」では、学年の発達段階に合わせた理科の見方や考え方が身に付けられるような系統性がある。</p> <p>○第6学年P12のように、ページの左端に問題解決のプロセスが整理されて記述されている。</p> <p>○第6学年P25のように、発展的内容は、コラム「理科の広場」や「くらしとリンク」に記載されており、内容等も適切である。中学校での学びへのつながりを意識できる。</p>	<p>○一年間の学習を振り返るような復習ページがない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○巻末の「オッターの資料室」では、発達段階に応じたノートのかき方や発表の仕方などが示されている。</p> <p>○新出の実験器具や資料の提示の際、二次元コードで詳細が見られるように工夫されている。デジタルコンテンツの数は、第6学年約100個、第5学年約100個、第4学年約70個、第3学年約80個である。</p> <p>○活字の大きさ、字体、行間、色調が適切である。安全面の注意事項が、第5学年P41のように橙色の「注意」で強調されている。</p>	<p>○重要語句の強調の仕方が、他の文字との差が少なくあまり目立たない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○P7（第6学年はP9）の「もくじ」で、全体の構成が見通せる。巻頭の「季節ごよみ」で、学習に必要な植物栽培についての見通しをもちやすい。</p> <p>○サイズ：縦25.7cm、横21.1cm、厚さ0.8cm、重量：第6学年427g、第5学年382g、第4学年400g、第3学年397g 教科書のサイズが他社に比べて小さい。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォント採用、再生紙・植物油インキ使用、個人の特性にかかわらず内容が伝わりやすい配色・デザインを使用している。</p>	<p>○第6学年の巻頭「季節ごよみ」の記載がジャガイモだけだが、同じ単元で使用するホウセンカの記載はない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 生 活 】

調査委員長

梶田 佳江

総 評

○東京書籍

- ・上巻の巻頭「がっこうせいかつすたあと」（P3～P11）では、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿がどのように発揮されるか絵や写真とともに記載されている。
- ・「つながる広がるわたしの生活」では、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という総合的な学習の時間における探究過程と近い展開の単元が設定されているが、SDGsの記載はない。
- ・観察カードの書き方が、見付ける、比べる、たとえるの3分類にそって記載されていたり（上巻P35）、付箋で分類・整理する場面（下巻P86）や、様々な方法で伝え合う場面（下巻P78～P79）などが描かれ、相手意識や方法、目的を明確にして課題解決の方法が学べるような工夫が見られる。
- ・「かつどうべんりてちょう」「デジタルずかん」「しりょう」「つかいかた」などのデジタルコンテンツを活用して、挨拶の仕方やICT機器の使い方など、スキルを高める内容の記載とともに、発展的に学ぶことができるようになっている。

○大日本図書

- ・上巻の巻頭「たのしいよ 1ねんせい」（P2～P7）では、幼稚園・保育園・子ども園の生活と小学校生活とを比較をしながらのスタートカリキュラムとなっている。
- ・現代的な課題や内容を扱っており、SDGsと生活科の関連性が分かりやすいように、関連単位にはSDGsのマークが付けられている。（下巻P48～P51）
- ・発達段階に応じたカードの書き方が例示されている。特に第1学年初期の段階では、文字を書くのではなく、気持ちを表現する気持ちマークというものが教科書に示されている。
- ・巻末資料「がくしゅうどうぐばこ」では豊富な資料を掲載し、児童が活動に即して基本的な知識や技能の習得が図れるようにしている。

○学校図書

- ・上巻の巻頭「はじまるよ しょうがっこう」（P1～P11）では、小学校生活の円滑な接続として児童の発達段階を考慮した紙面となっている。
- ・発達段階を考慮したカードの記録例や記録の目安となるカードの記録例など、多様な表現で例示されている。（例 上巻P35、P132、P135など）
- ・「ものしりのうと」では、マナーや遊び、植物の育て方、おもちゃの作り方などが絵と文で具体的に掲載されている。
- ・巻末に9つの項目からなる「学び方図かん」を設定し、生活科の学習に必要な基礎的な知識・技能の習得が分かりやすくまとめられているが、SDGsの記載はない。

○教育出版

- ・上巻「はじめのいっぽ」では、紙面下段に「にゅうがくまえからしていたよ。」「にゅうがくまえからすきだったよ。」がイラストで紹介されており、上段に小学校生活での様子が写真で紹介されているため、保幼小の接続が分かりやすい。（上巻P4～P9）
- ・SDGsを意識した構成となっており、関連学習にSDGsのマークが付いていたり、その一覧がまとめられていたりしている。（下巻P109 「学びのポケット」、P122 「地きゅうとなかよし」）
- ・生活科の学習目標を6つの力として、単元ごとに明確になっている。（上下巻ともにP2）。また、①きづく、②じぶんでできる→何を学ぶか（知識・技能の基礎）、③かんがえる、④つたえる→どのように学ぶか（思考力・判断力・表現力等の基礎）、⑤ちょうせんする、⑥じしんをもつ→何ができるようになるか（学びに向かう力・人間性等）のマークが見開き左上の単元名前に付いている。
- ・「わくわくスイッチ」で自分にあった学習を選択したり、日常生活に直結する内容（上巻P19 野菜の旬、下巻P127 避難訓練「おかしも」 など）など、個に応じた学習に取り組むことができる。

○光村図書出版

- ・巻頭「いちねんせいのはじまるよ」では、児童がこれまでの成長を生かしながら、円滑に小学校の学びに移行することができるよう、幼児期に育まれた様々な力が小学校生活のいろいろな場で生かされている例を示している。
- ・SDGsのマークについて上下巻P5に紹介があり、下巻P55のように関連の強いページを示している。
- ・小単元の最後に「ふりかえろう」があり、「みつけた」、「くらべた」、「きづいた」など（例：上巻P45）、観点がきちんと明示されており、振り返りがしやすく、導入・展開・振り返りの学習過程が明確で、分かりやすい。
- ・「ひろがるせいかつじてん」下巻の別冊P7～P13までが、総合的な学習の時間における探究的な活動につながる内容であったり、生きもの図鑑は、手軽に使用できるようになっている。

○新興出版社啓林館

- ・スタートカリキュラムで活用できる内容として、「がっこうだいすき いちねんせい」（上巻P1～P16）が設定されている。
- ・下巻には「地きゅうのみらいを考える」（下巻P114、115）にはってんとして、SDGsについての説明がある。
- ・上巻P113の付箋整理や上巻P47、P92などの児童の気付きを共有化・可視化する、板書、付箋、ICTを活用する学習活動が例示されていたり、様々な思考ツール（上巻P112、下巻P121）の例示があったり、課題解決の方法を学ぶことができる。
- ・下巻巻末資料「3年生へのステップ」では、園での学びから3年生への学習のつながりが明確に示されている。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 生 活 】

発行者【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○上巻「がっこうせいかつすたあと」（P1～P13）では、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿が絵や写真とともに記載されている。</p> <p>○下巻P80～P89「つながる広がるわたしの生活」では、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という総合的な学習の時間における探究過程と近い展開の単元が設定されている。</p> <p>○上巻P34「こんぴゅうたあをつかおう」、P119「コンピューターをつかおう」では、一人一台端末の活用例が具体的に記載されている。</p> <p>○下巻P106「道ぐをつかおう」では、環境に配慮した道具の使い方について記載されている。</p>	<p>○SDGsに関する表記はない。</p>
構成・分量	<p>○他教科との関連で身に付けた資質・能力を活用する場面を例示している。（例：下巻P15「話をつなごう」、P29「みつけたことをはなそう」など）</p> <p>○小単元は見開き2ページで構成されており、問いが左上に記載されている。</p> <p>○観察カードの書き方が、見付ける、比べる、たとえるの3分類にそって記載されていたり（上巻P35）、付箋で分類・整理する場面（下巻P86）や、様々な方法で伝え合う場面（下巻P78～P79）などが描かれ、相手意識や方法、目的を明確にして課題解決の方法が学べるような工夫が見られる。</p>	<p>○伝え合う学習活動は、イラストなどで例示はされているが、発表までの計画・ゴールイメージなど学習計画のイメージを児童がもてる記載になっていない。（例：上巻P20～P21）</p>
表記・表現	<p>○二次元コードが上巻に45個、下巻に30個が用意され、アクセスをするとどのような資料を見ることができるか分かるようになっている。</p> <p>○各単元には、写真やイラストは、多様性・共存（車椅子、外国籍の子どもなど）を意識した素材を使用しており、配慮が感じられる。（例：下巻P57、P60など）</p> <p>○上巻P28～P33「たねをまこう」では、ページの大きさを変えて、種の様子、芽の様子、花の様子などが横並びで見られるよう工夫がされている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p>	<p>○下巻P86、87のように見開き1ページの中に扱われている絵や文等の記載が多かったり、文字が小さかったりする。</p>
使用上の便宜	<p>○「かつどうべんりてちょう」「デジタルずかん」「しりょう」「つかいかた」などのデジタルコンテンツを活用して、挨拶の仕方やICT機器の使い方など、スキルを高める内容の記載とともに、発展的に学ぶことができるようになっている。</p> <p>○教科書のサイズはA4判の大きさで、重さは上巻346g、下巻310gである。</p> <p>○ページ数は、上巻129ページ、下巻121ページで構成されている。</p> <p>○「保護者の皆様へ」があり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主な例が示されていたり、単元の注意事項などが書かれており、生活科の学習についての情報を提供している。（例：上巻P1、P39など）</p>	<p>○上巻「がっこうせいかつすたあと」が紙面（A4判）よりも小さく構成されている。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 生 活 】

発行者【 大日本図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○上巻の巻頭「たのしいよ 1ねんせい」(P2～P7)では、幼稚園・保育園・子ども園の生活と小 学校生活とを比較をしながらのスタートカリキュラムで活用できる内容となっている。</p> <p>○下巻巻末資料の「がくしゅうどうぐばこ」では、おもちゃ作りや、これまでに学習してきたことのま とめが記載されており、児童が活動に即して基本的な知識や技能の習得を図ることができるようになっ ている。</p> <p>○上巻P26のように、一人一台端末を使用している活動の写真やイラストが掲載されている。</p> <p>○SDGsと関連するところでは、SDGsのマークが付いており、現代的な課題や内容を扱ってい る。特に、下巻P48～P51は、SDGsと生活科との関連性が示されている。</p>	<p>○上巻P2～P7は、スタートカリキュラムで活 用できる内容になっているが、取り組み方の記載 が不足している。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○教科横断的な視点で、単元に関連するところは「図工」「国語」などと教科書に書かれている。 (例：上巻P6～P7、下巻P5など)</p> <p>○左上(緑囲い)に学習ねらいにつながる問いかけが必ず記載されており、学習内容を児童が把握しや すい。</p> <p>○発達段階に応じたカードの書き方が例示されている。特に第1学年初期の段階では、文字を書くので はなく、気持ちを表現する気持ちマークというものが教科書に示されている。</p>	<p>○どんなことに注目してもらいたいかわかりにくい紙面になっている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○二次元コード(上巻：51個、下巻：41個)。そして、また、二次元コードの中には保護者向けの ものもあり(例：上巻P2)、育ってほしい姿や学習のポイントを学校と共通認識することができる。</p> <p>○絵や写真などが教科書の中に多くあり、児童が興味をもって学習に取り組むことができるように工夫 されている。注目してもらいたい内容については、吹き出し等で子どものつぶやきで示されている。</p> <p>○上巻P109やP117などに「ゆきの名まえ」や「しごとのことば」などが「せいかつことば」と して教科書に記載されており、児童の語彙量を増やす工夫がなされている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p>	<p>○写真やイラストが小さく、細部まで見ることが できないものがある。(例：上巻P29、P34 など)</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻末資料「がくしゅうどうぐばこ」では豊富な資料を掲載し、児童が活動に即して基本的な知識や技 能の習得が図れるようにしている。</p> <p>○教科書のサイズはA4判の大きさで、重さは上巻336g、下巻310gである。</p> <p>○ページ数は、上巻137ページ、下巻125ページで構成されている。</p> <p>○上下巻ともに、目次のページ下部で保護者に支援の協力について記載されている。</p>	<p>○教科書の標題に関する学習の内容や、児童の気 付きを引き出すための着眼点がわかりにくい紙面 となっている。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 生 活 】

発行者【 学校図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○小学校生活の円滑な接続として、「はじまるよししょうがっこう」（上巻P3～P11）が設定され、児童の発達段階を考慮した内容となっている。</p> <p>○巻末に9つの項目からなる「学び方図かん」を設定し、生活科の学習に必要な基礎的な知識・技能が分かりやすいようにまとめられており、参照しやすい工夫がされている。</p> <p>○登場する4名のキャラクターが各単位でお互いに関わり合いをもち、多様な対話活動の様子を示している。</p> <p>○一人一台端末の活用について、使うと便利な道具として上巻P135や下巻P125に紹介されている。</p>	<p>○SDGsに関する表記はない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○「探検」、「遊び」、「飼育」、「栽培」、「家族・成長」の5つを大単位として内容が連続した構成のため、児童が見通しをもって活動できる内容となっている。</p> <p>○「ものしりのうと」では、学校探検での挨拶の仕方（上巻P20）や、あさがおの種の植え方（上巻P30）、リース作り（上巻P47）などが絵と文で具体的に記されている。</p> <p>○上巻P46などのように「もっと～」として、発展的な内容を紹介している。</p>	<p>○他教科との関連についての表記はない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○「栽培」や「飼育」の単位には二次元コードが載っており、一人一台端末を活用して詳細を調べることができる。二次元コード（上巻：31個、下巻：25個）</p> <p>○発達段階を考慮したカードの記録例や記録の目安となるカードの記録例など、多様な表現で例示されている。（例 上巻P35、P132、P135など）</p> <p>○目次に表記された「てらあい・うがい」のマークや「やくそく」のマークが紙面右上に表記されており、感染予防対策や安全上の配慮事項などが示されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p>	<p>○「うごくおもちゃをつくろう」にあるストローアーチェリーは、第2学年が作成するには難しい。（下巻P88）</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○使用されている漢字にすべてルビが振ってあるため、未習の漢字も読むことができる。</p> <p>○教科書のサイズはA4判変形サイズ（レターサイズ）の大きさで、重さは上巻352g、下巻332gである。</p> <p>○ページ数は、上巻137ページ、下巻129ページで構成されている。</p> <p>○先生方と保護者に最終頁に生活科について紹介がある。</p>	<p>○「生きものと友だち」では、生き物に触る前と後は手を洗おうの表記はあるが、動物アレルギーについては触れられていない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 生 活 】

発行者【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○上巻「はじめのいっぽ」では、紙面下段に「にゅうがくまえからしていたよ。」「にゅうがくまえからすきだったよ。」がイラストで紹介されており、上段に小学校生活での様子が写真で紹介されているため、保幼小の接続が分かりやすい。（上巻P4～P9）</p> <p>○上巻P27のように、学習の「ひんと」として、考え方や表現の仕方が記載されている。</p> <p>○一人一台端末の効果的な活用方法が分かりやすく紹介されており、（上巻P29 植物の観察における記録など）、まなびのぼけっとを見るとルールやマナーについても記載がされている。上巻P128～P129）</p> <p>○SDGsを意識した構成となっており、関連学習にSDGsのマークが付いていたり、その一覧がまとめられたりしている。（下巻P109 「学びのポケット」、P122 「地きゅうとなかよし」）</p>	<p>○観察カードの記入例が紹介されているが、人物の絵について必要でない場合がある。（例 下巻P13～P14）</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○「はってん」では、教科との関連を図る内容がある。（下巻P31 「社会科のまど」東西南北、下巻P104 「楽しかったね生活科」学んだ力がどのようにつながっているのかの例示が分かりやすい。）</p> <p>○生活科の学習目標を6つの力として、単元ごとに明確になっている。（上下巻ともにP2）。また、①きづく、②じぶんでできる→何を学ぶか（知識・技能の基礎）、③かんがえる、④つたえる→どのように学ぶか（思考力・判断力・表現力等の基礎）、⑤ちょうせんする、⑥じしんをもつ→何ができるようになるか（学びに向かう力・人間性等）のマークが見開き左上の単元名前に付いている。</p> <p>○「はてな」（？）のマークを提示することで、どの単元においても、児童が主体的・探究的な学びに向かうような構成になっている。（上巻P16、下巻P13 など）</p>	<p>○上巻P34、35など文字量が多いため、情報の精選が必要である。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○二次元コードから情報収集をする際、紙面上で識別することができる。</p> <p>○第1学年の段階から、思考ツールの手法を取り入れた学習例が示されている。（上巻P77など）</p> <p>○「わくわくスイッチ」で自分にあった学習を選択したり、日常生活に直結する内容（上巻P19 野菜の旬、下巻P127 避難訓練「おかしも」 など）など、個に応じた学習に取り組むことができる。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p>	<p>○「おもちゃの作り方」について、動画での説明が不足している。</p>
使用上の便宜	<p>○使用している色が項目ごとに決められているため、視覚的に捉えやすい。</p> <p>○教科書のサイズはA4判の大きさで、重さは上下巻ともに約315gである。</p> <p>○ページ数は、上下巻ともに129ページで構成されている。</p> <p>○目次ページ下部に保護者に対し、生活科における学び方について説明をしている。</p>	<p>○「なかよくなるうね 小さなともだち」では、生き物に触る前と後には手洗いうがいを必ずしようの表記はあるが、動物アレルギーについては触れられていない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 生 活 】

発行者【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○巻頭「いちねんせいがはじまるよ」では、児童がこれまでの成長を生かしながら、円滑に小学校の学びに移行することができるよう、幼児期に育まれた様々な力が小学校生活のいろいろな場で生かされている例を示している。</p> <p>○上下巻ともに、「こんなこともあるかもね」「こんなのもいいかもよ」「どうしてなんだろう」の部分が児童の思考を深めたり、興味をもてるように工夫がなされていたりしている。</p> <p>○一人一台端末について、ひろがるせいかつじてん上巻「きろくをしよう」、下巻「じょうほうききをつかおう」のページに紹介されている。</p> <p>○SDGsのマークについて上下巻P5に紹介があり、下巻P55のように関連の強いページを示している。</p>	<p>○上下巻ともに、実際に一人一台端末活用している様子の写真が少ないため、巻末「ひろがる せいかつ じてん」を活用するなど、工夫が必要である。</p>
構成・分量	<p>○見開きページ左下のように、課題解決につながるヒントが記載されており、主体的に学ぶことができる工夫がされている。</p> <p>○小単元の最後に「ふりかえろう」があり、“みつけた”、“くらべた”、“きづいた”など（例：上巻P45）、観点がきちんと明示されており、振り返りがしやすく、導入・展開・振り返りの学習過程が明確で、分かりやすい。</p> <p>○「わたしのせいかつマップ」（下巻P8～P11）には吹き出しがあり、自分が発見したことを自分で書き込む工夫がなされている。</p>	<p>○上巻巻末の「～（「季節の）なかまたち」は保管や活用の仕方について、工夫が必要である。</p>
表記・表現	<p>○二次元コード（上巻：10個、下巻：7個）からデジタルコンテンツを活用することができる。</p> <p>○様々な職種、人種、立場のをイラストや写真で扱っている。</p> <p>○全体的に、親しみやすいイラストを中心に構成されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。</p>	<p>○児童の観察カードやお礼の手紙が斜めに記載されていたり、やや小さい。</p>
使用上の便宜	<p>○「ひろがるせいかつじてん」下巻の別冊P7～P13までが、総合的な学習の時間における探究的な活動につながる内容であったり、生きもの図鑑は、手軽に使用できるようになっている。</p> <p>○教科書のサイズはA4判の大きさで、重さは上巻400g、下巻334gである。</p> <p>○ページ数は、上巻119ページ（別冊込み）、下巻127ページ（別冊込み）で構成されている。</p> <p>○随所に保護者への情報提供があり、学習の協力依頼や、家でどのように取り組むとよいかなどが、記載されている。</p>	<p>○別冊の「ひろがるせいかつじてん」が上下巻ともに別冊になっているが、見やすい反面、管理に工夫が必要である。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 生 活 】

発行者【 新興出版社啓林館 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○スタートカリキュラムで活用できる内容として、「がっこうだいすき いちねんせい」（上巻P1～P16）が設定されている。</p> <p>○上巻P12のように、単元末「ぐんぐん」の紙面の「できるかな できたかな？」のコーナーで自己評価の視点を示し、「ひろがるきもち」のコーナーでは、学習活動を日常生活につなげたり、学習をさらに広げる具体的な姿が示されている。</p> <p>○上巻P113の付箋整理や上巻P47、P92などの児童の気付きを共有化・可視化する、板書、付箋、ICTを活用する学習活動が例示されていたり、様々な思考ツール（上巻P112、下巻P121）の例示があったり、課題解決の方法を学ぶことができる。</p> <p>○下巻には「地きゅうの未来を考える」（下巻P114、115）に「はってん」として、SDGsについての説明がある。</p>	<p>○下巻P100からの「これまでのわたし これからのわたし」では、自分自身の成長を振り返る具体的な活動例が少ない。</p>
構成・分量	<p>○他教科との関連や発展的な内容についての記載がある。（例：上巻P102 はってん！りか・4年 など）</p> <p>○ページ右下部に活動の中で生まれた気付きや次の活動への思いや願いを示しており、思いや願いの連続性を意識し、次の活動へつなげる工夫がされている。</p> <p>○季節単元や植物を扱う単元の最後には写真が多く掲載されている「びっくり図鑑LIVE」のページがある。（例：上巻P78～P83）</p>	<p>○上巻P84からの「じぶんでチャレンジ 大きくせん」全体的に家族との関わりについての取り扱いがない。</p>
表記・表現	<p>○二次元コード（上巻：31個、下巻：15個）。そして、「学びウェブ」（上巻P21など）「どうがでみよう（上巻P29）など」「おしばな（上巻P29など）、その二次元コードにアクセスすると、どのような情報を得ることができるのかが紙面上で分かるようになっている。</p> <p>○上下巻ともに、写真やイラストで外国につながる児童や車いすに乗っている児童など設定しており、様々な人々との共生に配慮がなされている。</p> <p>○ページ左に「わくわく、いきいき、ぐんぐん」の3つの印が示されており、それぞれのページがどの学習段階なのかが分かりやすい。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントが使用されている。また、目的や活動によって文字の背景の色を変えていて、視覚的に捉えやすい。</p>	<p>○下巻全体で二次元コードでの追加情報が15個と、他社に比べ、やや少ない。</p>
使用上の便宜	<p>○下巻巻末資料「3年生へのステップ」では、園での学びから3年生への学習のつながりが明確に示されている。</p> <p>○教科書のサイズはA4判変形サイズ（レターサイズ変形：縦がレターサイズよりも約2cm小さい）大きさで、重さは上巻320g、下巻286gで持ち運びがしやすい。。裏表紙には、自分のマークを書くことができ、教科書に愛着をもつことができる。</p> <p>○ページ数は、上下巻ともに128ページで構成されている。</p> <p>○教科書上部または下部には、保護者の皆様へ（上巻P1）およびご指導される先生方へ（上巻P39など）と、学習のねらいや注意事項について情報を伝えている。</p>	<p>○上巻「がっこうだいすき いちねんせい」、下巻「3年生へのステップブック」が紙面よりもさらに小さく構成されている。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書 小 学 校 【 音 楽 】

調査委員長 金子 陽子

総 評

○教育出版

- ・学習のめあてが各題材で示されており、板橋区授業スタンダードに沿った学習を行うことができる流れとなっている。
- ・SDGsに関連する内容が取り上げられている。（第5学年P65「川はだれもの？」）
- ・「前の学習を思い出そう。」（第5学年P20など）「他のページも見てみよう。」（第5学年P49など）のマークがあることにより、学びの系統性を意識することができる。
- ・各校の実態に応じて弾力的に扱うことのできる教材が、第1学年10曲、第2学年11曲、第3学年9曲、第4学年12曲、第5学年9曲、第6学年12曲掲と、多くの曲が掲載されている。
- ・全学年で英語の歌が掲載されており、他教科とのつながりを意識することができる。
- ・鍵盤ハーモニカや打楽器、木琴などの器楽指導では写真を多く使用し、第2学年P76などで楽器やばちの持ち方、演奏の仕方などがわかりやすく示されている。デジタルコンテンツは、第1学年14個、第2学年16個、第3学年24個、第4学年21個、第5学年23個、第6学年16個掲載されている。

○教育芸術社

- ・学習のめあてとふりかえりが各題材で示されており、板橋区授業スタンダードに沿った学習を行うことができる流れとなっている。
- ・第6学年P24～25「著作権について知ろう」で著作権について取り上げられており、情報モラルについて学習することができる。
- ・「見つける」「考える」「歌う」「つくる」「演奏する」では、それぞれの学習活動が示されており、思考力、判断力、表現力を育むことができる。
- ・「チャレンジ」「ステップアップ」といった発展的な内容も扱われている。
- ・「おもいだそう」（第5学年P37など）のマークがあることにより、学びの系統性を意識することができる。
- ・デジタルコンテンツは、第1学年28個、第2学年32個、第3学年32個、第4学年34個、第5学年33個、第6学年30個掲載されている。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 音 楽 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○右ページ上段に「音楽のもと」で、学習内容が明示されている。重要語句は、ページ右端に整理されている。</p> <p>○「まなびナビ（学び方を知ろう）」（第6学年P18など）では、学習の方法が示されており、思考力、判断力、表現力を育むことができる。</p> <p>○音楽づくりの単元（第6学年P52など）では、音色やリズムの組み合わせを考え、試行錯誤しながら改善していく教材が設けられており、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる内容である。</p> <p>○学習のめあてが各題材で示されており、板橋区授業スタンダードに沿った学習を行うことができる流れとなっている。SDGsに関連する内容が取り上げられている。（第5学年P65「川はだれのもの？」）</p>	<p>○学習活動が分類されていないため、育成する力が不明瞭である。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○「前の学習を思い出そう。」（第5学年P20など）「他のページも見てみよう。」（第5学年P49など）のマークがあることにより、学びの系統性を意識することができる。</p> <p>○「音楽づくり」や「鑑賞」の内容や分量に偏りはなく、学習指導要領の内容に照らして分量は適切である。</p> <p>○各校の実態に応じて弾力的に扱うことのできる教材が、第1学年10曲、第2学年11曲、第3学年9曲、第4学年12曲、第5学年9曲、第6学年12曲と、多くの曲が掲載されている。</p> <p>「はってん」といった発展的な内容も扱われている。全学年で英語の歌が掲載されており、他教科とのつながりを意識することができる。</p>	<p>○児童に書き込ませる枠が、各学年2か所程度と少なく、構造化されていない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○低学年では、楽譜の代わりにイラストが使われている部分があり、発達段階に応じた表記・表現がされている。</p> <p>○鍵盤ハーモニカや打楽器、木琴などの器楽指導では写真を多く使用し、第2学年P76などで楽器やばちの持ち方、演奏の仕方などがわかりやすく示されている。第5学年のP40で日本地図、第6学年のP38で世界地図が使用され、子どもたちの理解を助けている。デジタルコンテンツは、第1学年14個、第2学年16個、第3学年24個、第4学年21個、第5学年23個、第6学年16個掲載されている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p>	<p>○二次元コードの記載位置が統一されていない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○各学年の巻頭に「学習マップ」、巻末に「音楽のもと」まとめがあり、全体の構成が見通せるように配慮されている。</p> <p>○教科書の重さは、第1学年175グラム、第2学年177グラム、第3学年190グラム、第4～6学年195グラムである。</p> <p>○総ページ数は第1・2学年78ページ、第3学年80ページ、第4～6学年82ページである。</p>	<p>○「学習マップ」と「音楽のもと」まとめのページが明確に対応していない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 音 楽 】

発行者 【 教育芸術社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○ページの下部の右に、学習内容が明示されている。重要語句は、巻末のふりかえりのページに整理されている。</p> <p>○「見つける」「考える」「歌う」「つくる」「演奏する」では、それぞれの学習活動が示されており、思考力、判断力、表現力を育むことができる。</p> <p>○音楽づくりの単元（第6学年P22など）では、音色やリズムの組み合わせを考え、試行錯誤しながら改善していく教材が設けられており、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる内容である。</p> <p>○学習のめあてとふりかえりが各題材で示されており、板橋区授業スタンダードに沿った学習を行うことができる流れとなっている。第6学年P24～25「著作権について知ろう」で著作権について取り上げられており、情報モラルについて学習することができる。</p>	<p>○表紙、各ページの子どもたちのイラストや、キャラクターに鼻が描かれていないのは、人権に対する配慮が乏しい。</p>
構成・分量	<p>○「おもいだそう」（第5学年P37など）のマークがあることにより、学びの系統性を意識することができる。</p> <p>○「音楽づくり」や「鑑賞」の内容や分量に偏りはなく、学習指導要領の内容に照らして分量は適切である。</p> <p>○各校の実態に応じて弾力的に扱うことのできる教材が、第2学年7曲、第3～4学年10曲、第5学年9曲、第6学年11曲掲載されている。「チャレンジ」「ステップアップ」といった発展的な内容も扱われている。</p>	<p>○「気付いたこと」「感じたこと」を書き込ませる欄が第3学年、第6学年にしかなく、偏りがある。</p>
表記・表現	<p>○低学年では、楽譜の代わりにイラストが使われている部分があり、発達段階に応じた表記・表現がされている。</p> <p>○鍵盤ハーモニカや打楽器、木琴などの器楽指導では写真を多く使用し、第2学年P78などでは、楽器の持ち方、演奏の仕方などがわかりやすく示されている。第5学年P60には日本地図、第6学年P48には世界地図が使用され、子どもたちの理解を助けている。デジタルコンテンツは、第1学年28個、第2学年32個、第3学年32個、第4学年34個、第5学年33個、第6学年30個掲載されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用し、全ての子どもたちの色覚特性に適応することを目指してデザインされている。</p>	<p>○第2学年巻末の「いろいろながつき」にマレットやばちの持ち方が示されていない。</p>
使用上の便宜	<p>○各学年の巻頭に「学習マップ」、巻末に「ふりかえりのページ」があり、全体の構成が見通せるように配慮されている。</p> <p>○教科書の重さは、第1学年172グラム、第2学年175グラム、第3・4学年182グラム、第5・6学年185グラムである。</p> <p>○総ページ数は第1・2学年83ページ、第3～6学年は87ページである。アジロ製本様式である。</p>	<p>○「学習マップ」と「ふりかえりのページ」が明確に対応しておらず、学習内容のふり返りが難しい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 図画工作 】

調査委員長

相澤 紀夫

総 評

○開隆堂出版

- ・学習のめあてが学習指導要領の三つの柱に沿って児童にとって分かりやすい表現として示されている。また、めあてに対応した振り返りの項目や、安全や片付けに対する内容も記載されている。
- ・巻末にある「学びの資料」は該当学年で使用する用具・道具の使い方について明記されている。また、用具・道具の使い方は、関連する題材のページにも表記があり、巻末への「学びの資料」と繋がっている。
- ・教科書はA4版で作品や活動の様子を大きく扱っていて見やすい。また吹き出しなどを使って発想につながるコメントが記載されていて分かりやすい。
- ・二次元コードから用具の使い方などを動画で見ることができる。
- ・一人一台端末の活用ができる活動（振り返りシート、道具の使い方）が多く組み込まれている。
- ・第5・6学年上巻P55にあるようにSDGsに関する取り組みや作品が適宜紹介されているので、環境教育にもつなげることができる。また「あわせて学ぼう」では他教科とつながりを意識して横断的に学ぶことができる。

○日本文教出版

- ・全ての題材に教科の目標に基づく学習のめあてを設け、それが学習指導要領で求められる三つの資質・能力に沿って設定されている。また、めあてに沿った振り返りの項目があり、学びの繋がりを意識しやすい。
- ・巻末の「材料と用具の引き出し」に、該当学年で使用する用具・道具の名称及び使い方のポイントが記載されている。イラストや写真も大きく、「切る」などの項目ごとにわかれている点も分かりやすい。また、第1・2学年上巻P10に「クレヨン・パスについては58ページ。」とあるように関連する題材のページにも表記があり、参照できる。
- ・各ページの右下に二次元コードが記載されており、作品や用具の使い方などのデジタルコンテンツを見ることができる。
- ・題材ページの作品コメントや吹き出しでは、活動や作品に対して児童がイメージしたり思ったりすると予想される言葉で示されており、児童にとって分かりやすい表現となっている。
- ・SDGsや各教科とのつながりは、ページ右下の「つながる学び」に記載されている。
- ・第1・2学年上巻の巻頭には幼児が工作する様子の写真が掲載され、幼保連携を意識したつくりになっている。そして第5・6学年下巻P67では9年間の美術科教育への系統性が意識できるようになっている。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 図画工作 】

発行者 【 開隆堂出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○学習のめあてが学習指導要領の三つの柱に沿って児童にとって分かりやすい表現として示されている。また、めあてに対応した振り返りの項目や、安全や片付けに対しての内容も記載されている。</p> <p>○巻末にある「学びの資料」は該当学年で使用する用具・道具の使い方について明記されている。また、用具・道具の使い方は、関連する題材のページにも表記があり、巻末の「学びの資料」と繋がっている。</p> <p>○第5・6学年上巻P55にあるようにSDGsに関する取り組みや作品が適宜紹介され環境教育につなげることができる。また、「あわせて学ぼう」では他教科とのつながりを意識して横断的に学ぶことができる。</p> <p>○第1・2学年上巻の巻頭部分に幼稚園教諭のメッセージが掲載され、保育園、幼稚園での活動を土台として図画工作の教科に期待して移行できるような幼保連携を意識した作りになっている。また、第5・6学年下巻P66では9年間の美術科教育への系統性が意識できるようになっている。</p>	<p>○「合わせて学ぼう」では他教科と関連させる内容を示しているが、第5・6学年下巻P43のスチレンボード版画から「浮世絵版画」の作品鑑賞につなげ、江戸時代の文化を考えさせることや第3・4学年P45の工作から箱の図形を考えさせる等の実際にはやりにくいものもある。</p>
構成・分量	<p>○各領域は以下巻のようになっている。</p> <p>第1・2学年上巻計65P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：8P、立体：8P、工作：14P、鑑賞：4P）</p> <p>第1・2学年下巻計65P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：8P、立体：6P、工作：16P、鑑賞：4P）</p> <p>第3・4学年上巻計65P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：6P、立体：6P、工作：16P、鑑賞：4P）</p> <p>第3・4学年下巻計65P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：6P、立体：6P、工作：16P、鑑賞：4P）</p> <p>第5・6学年上巻計65P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：4P、立体：6P、工作：14P、鑑賞：4P）</p> <p>第5・6学年下巻計69P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：4P、立体：6P、工作：12P、鑑賞：6P）</p> <p>○巻末の「学びの資料」で用具や材料の説明が記載されている。</p>	<p>○全体の構成として、鑑賞の題材が少ない。</p>
表記・表現	<p>○題材名の左上の箇所（定位置）に、その題材で使用する用具が、イラストと文字で表記されているため、何を使用するか分かりやすい。</p> <p>○教科書はA4版で作品や活動の様子を大きく扱っていて見やすい。また吹き出しなどを使って発想につながるコメントが記載されていて分かりやすい。</p> <p>○二次元コードの記載がある。</p>	<p>○写真が古いのか、第1・2学年下巻P17の児童の写真や第5・6学年上巻P10、11の作品の写真のようにピントがあっていないものがある。</p> <p>○第3・4学年下巻P40、41の「ハッピーカード」では、写真が見開きの中心に来てしまい作品の仕組みが見づらい。</p>
使用上の便宜	<p>○目次のページは表紙の裏に大きく扱っており、作品は見開き2ページあたり5～6程度あり、児童がイメージを広げやすい。</p> <p>○タブレット端末を使ってできる活動（振り返りシート、道具の使い方、二次元コード等）が多く組み込まれており、一人一台端末の活用を意識した内容になっている。二次元コードの記載は1・2年上32個、1・2年下32個、3・4年上31個、3・4年下31個、5・6年上31個、5・6年下29個である。</p>	<p>○第1・2学年下巻P30、31にあるように紙面のデザインを重視したため、写真と文字が被っている部分が見にくい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 図画工作 】 発行者 【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	○全ての題材に教科の目標に基づく学習のめあてを設け、それが学習指導要領で求められる三つの資質・能力に沿って設定されている。また、めあてに沿ったふりかえりの項目があり、学びの繋がりを意識しやすい。 ○巻末の「材料と用具の引き出し」に、該当学年で使用する用具・道具の名称及び使い方のポイントが記載されている。イラストや写真も大きく、「切る」などの項目ごとにわかれている点がわかりやすい。また、第1・2学年上巻P10に「クレヨン・パスについては58ページ。」とあるように関連する題材のページにも表記があり、参照できる。 ○「きをつけよう」「かたづけ」「ふりかえり」の項目が各題材ごとに定位置に記載されており、安全性及び材料の有効利用や再利用についての配慮がされている。 ○第1・2学年上巻の巻頭には幼児が工作する様子の写真が掲載され、幼保連携を意識したつくりになっている。そして第5・6学年下巻P67では9年間の美術科教育への系統性が意識できるようになっている。	○「つながる学び」について項目を設けてあるが、教科名やSDGSの番号についての記載はあるが、どんな内容でつなげるのか記載がないので、わかりにくい。
構 成 ・ 分 量	○各領域は以下巻のようにになっている。 第1・2学年上巻計68P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：10P、立体：6P、工作：10P、鑑賞：6P） 第1・2学年下巻計64P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：7P、立体：8P、工作：10P、鑑賞：7P） 第3・4学年上巻計64P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：6P、立体：7P、工作：9P、鑑賞：8P） 第3・4学年下巻計64P（領域内訳、絵：12P、造形遊び：6P、立体：6P、工作：10P、鑑賞：11P） 第5・6学年上巻計68P（領域内訳、絵：12P、造形遊び：4P、立体：10P、工作：10P、鑑賞：8P） 第5・6学年下巻計68P（領域内訳、絵：14P、造形遊び：6P、立体：6P、工作：10P、鑑賞：8P） ○巻末の「材料と用具の引き出し」に材料に合わせた道具の使用法や表現の仕方が記載されている。	○題材が多く示され、選択しながら取り組むことができるが、提示されている時数で収める内容としては厳しい部分がある。
表 記 ・ 表 現	○題材ページの作品コメントやふきだしでは、活動や作品に対して児童がイメージしたり思ったりしたことが、実際に使用した言葉で示されており、児童にとってわかりやすい表現となっている。 ○図画工作の学びを振り返るページが5・6年下巻の巻末に設けられ、6年間の学びを振り返り、これからの中学校生活や人生にどう生かしていけるか考えられるようになっている。 ○各ページの右下に二次元コードの記載がある。	○数年使用する上で、児童のマスクをしている写真は子どもの影響が考えられる。 ○「つながる学び」は教科名のための記載なので、どのようにつなげるか分かりにくい。
使 用 上 の 便 宜	○目次が裏表紙にあり使いやすと同時に、各題材でどのような活動をするか分かるようマークが記載されている。作品は見開き2ページに5～8程度あり、生徒が見通しをもちやすく、イメージを広げやすい。 ○タブレット端末を使ってできる活動（説明、用具の使い方、鑑賞）が二次元コードで確認できる。1・2年上に35個、1・2年下に37個、3・4年上に35個、3・4年下に36個、5・6年に37個、5・6年下に35個の記載がある。	○1・2年上巻は目次のページが巻末にあり、分かりにくい。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 家 庭 】

調査委員長

森垣 真由美

総 評

○東京書籍

- ・「①課題発見 ②課題解決・実践活動 ③評価・改善」の3ステップで学習が進められるよう系統立てて表記されている。
- ・題材の終わりに「成長の記録」(P 6～7)を記入することで、2学年間のポートフォリオが完成する。「次へのチャレンジ」は、「生活の課題と実践」(P 65, 121, 134)の学習で活用できる。
- ・「プロに聞く！」コーナーが9か所に掲載されており、学習内容と関連した職業のインタビューが記載され、キャリア教育やSDGsに寄与する内容となっている。
- ・デジタルコンテンツにアクセスする二次元コードが67か所に掲載され、「Dマーク」で示した動画コンテンツが二次元コードから活用できる。
- ・野菜の切り方や布のぬい方などの技能に関わる内容が、巻末に写真付きでまとまっている。利き手別、実物大で「手をのせてまねしてみよう」が掲載されている。
- ・目次には家庭科を学ぶ意義が示され、第5・6学年の学習項目が系統立てて色・マーク分けされている。見開きでこれまでの関連する他教科の学習も含め、全体の見通しがもてる構成になっている。

○開隆堂出版

- ・「①気づく・見つける ②わかる・できる ③生かす・深める」の3ステップで学習が進められるよう、系統立てて表記されている。
- ・巻末(P 136～P 137)では、小学校と中学校の学習のつながりを明確にして、中学校の学習の概要を記載している。
- ・「キャリアインタビュー」が20か所に掲載されており、学習内容と関連した職業のインタビューが記載され、キャリア教育やSDGsに寄与する内容となっている。
- ・右のページに二次元コードが65か所に記載され、学習内容に合わせた動画コンテンツのページへアクセスすることができる。
- ・「実習で役立つワンポイント」が巻末に利き手別に記載され、裏表紙には「野菜の切り方」が一覧でまとめられている。目盛りもついており、活用できる。
- ・巻頭の見開きページ(P 1～5)やフローチャート(P 6, 7等)では、全体の構成の見通しがもてる。目次にある家庭科の2年間の流れや各領域の系統性が、第5学年の「生活を見つめ、できることを増やしていこう」、第6学年の「工夫して生活に生かそう」の学習を含めて、一連の流れで捉えられる。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 家 庭 】

発行者【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として題材のタイトルの横に示し、その題材で重視する4つの視点「協力」「健康・快適・安全」「生活文化」「持続可能な社会」を明確にしている。</p> <p>○「課題発見 課題解決・実践活動 評価・改善」の3ステップで学習が進められるよう表記されている。「めあて」「ふり返ろう」が設定され、板橋区授業スタンダードに合致している。</p> <p>○「プロに聞く！」コーナーが9か所に掲載されており、学習内容と関連した職業のインタビューが記載され、キャリア教育やSDGsに寄与する内容となっている。</p> <p>○題材の終わりに「成長の記録」(P6～7)を記入することで、2学年分のポートフォリオが完成する。「次へのチャレンジ」は、「生活の課題と実践」(P65, 121, 134)の学習で活用できる。</p>	<p>○じゃがいもをゆでる調理(P22)の中のジャガイモの包丁での皮むき、及び、みそしるの調理(P48)の大根の包丁での皮むきを行う際は、特に安全面での配慮を要する。</p>
構 成・分 量	<p>○第5学年8題材、第6学年7題材が設定されている。題材ごとに最後に「深めよう」という項目で学習内容を更に考え、発展に繋げる構成になっている。(P19など)</p> <p>○学習指導要領で題材指定された「ふくろ」について、製作にかかわる3つの大題材(P32、P73、P106)で系統性を図っている。</p> <p>○「売買契約の基礎」の学習において、子どもの生活に即した様々な具体的な場面を示し、契約の成立の場面設定が設けられている。(P38)</p>	<p>○第5学年の2学期の題材数は4題材で、ミシン縫いで生活に役立つ物を製作する題材が3学期に設定されている。</p>
表 記・表 現	<p>○デジタルコンテンツにアクセスする二次元コードが67か所に掲載され、「Dマーク」で示した動画コンテンツが二次元コードから活用できる。感染症対策やSDGs(外部サイト)についての内容もある。</p> <p>○巻頭の「いつも確かめよう」(P8～11)には安全面についての注意喚起、巻末の「いつも確かめよう」(P136～145)には実習や生活の中の実践に必要な技能について、写真・イラスト・デジタルコンテンツで記載、まとめられている。</p> <p>○野菜の切り方や布のぬい方などの技能に関わる内容が、巻末に写真付きでまとまっている。利き手別、実物大で「手をのせてまねしてみよう」が掲載されている。</p>	<p>○手縫いやミシン縫いの手順を示した写真が小さい。(P30～31など)</p>
使用上の便宜	<p>○目次には家庭科を学ぶ意義が示され、第5・6学年の学習項目が系統立てて色・マーク分けされている。見開きでこれまでの関連する他教科の学習も含め、全体の見通しがもてる構成になっている。</p> <p>○A4判で総ページ数は148ページである。薄手の紙を使用している。</p> <p>○色覚特性に適應するデザイン、UDフォントを使用している。</p>	<p>○授業ごとの児童の学びや気づき、ステップごとに設定された振り返りを記録するにはノートやワークシートを要する。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 家 庭 】

発行者【 開隆堂出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○家庭科における生活の見方・考え方の4つの視点を四葉のクローバーで示し（P36、P128など）、学習の中での見方・考え方を明確にしている。</p> <p>○「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3ステップで学習が進められるよう系統立てて表記されている。単元を通しての「学習のめあて」「学習をふり返ろう」が設定されている。</p> <p>○「キャリアインタビュー」が20か所に掲載されており、学習内容と関連した職業のインタビューが記載され、キャリア教育やSDGsに寄与する内容となっている。</p> <p>○巻末（P136～P137）では、小学校と中学校の学習のつながりを明確にして、中学校の学習の概要を記載している。</p>	<p>○案内役のキャラクターが様々な視点で登場するので、見方・考え方を確認しながら、学習を行う必要がある。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○第5学年11題材、第6学年9題材が設定され、前半（～P76）は「生活を見つめ、できることを増やしていこう」という基礎の習得、後半（P84～）は既習に基づいた「工夫して生活に生かそう」で構成されている。</p> <p>○各ページの下部に学習内容に関連した豆知識が111か所に設定され、実習では簡単なものから繰り返し、スモールステップで積み重ねられるよう設定されている。</p> <p>○「家族・家庭生活についての課題と実践」（P80～83）では4つの課題実践例を示している。</p>	<p>○「売買契約の基礎」の学習で、生活に即した具体的な買い物場面に関する内容において、「支払いに使えるいろいろなカード」が写真ではなくイラストである。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○右のページに二次元コードが65か所に記載され、学習内容に合わせた動画コンテンツのページへアクセスすることができる。</p> <p>○「実習で役立つワンポイント」が巻末に利き手別に記載され、裏表紙には「野菜の切り方」が一覧でまとめられている。目盛りもついており、活用できる。</p> <p>○表紙のデザインが、家庭科の授業を通して成長する姿を描いている。髪の毛や肌の色等について多様な人物の挿絵を登場させている（表紙、P33等）。</p>	<p>○P51「浸水時間と米の吸水量」では、水温による違いが示されていないため、資料を読み取り、考察する内容となっていない。</p>
使用上の便宜	<p>○巻頭の見開きページ（P1～5）やフローチャート（P6, 7等）では、全体の構成の見通しがもてる。目次にある家庭科の2年間の流れや各領域の系統性が、第5学年の「生活を見つめ、できることを増やしていこう」、第6学年の「工夫して生活に生かそう」の学習を含めて、一連の流れで捉えられる。</p> <p>○A4判で、総ページ数は153ページである。</p> <p>○色覚特性に適應するデザイン、UDフォントを使用している。</p>	<p>○授業ごとの児童の学びや気づき、振り返りを記録するにはノートやワークシートを要する。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
小 学 校 【 保 健 】

調査委員長 高野 康弘

総 評

- 東京書籍
 - ・第3学年の巻頭で「どんな自分になりたいか」問いかけ、第6学年の巻末で「どんな自分になれたか」確認するなど、自分自身を振り返ることを大事にしており、キャリア教育につながる内容である。
 - ・「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という流れで単元が構成されており、板橋区授業スタンダードの流れに沿っている。
 - ・学習と自己との関わりを意識させる内容となっており、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる内容である。
 - ・二次元コードが第3・4学年で32個、第5・6学年で68個掲載されている。
- 大日本図書
 - ・どの単元も学習内容を実生活に活かす内容となっており、自分の生き方につなげた「振り返り」ができるようになっている。（板橋区授業スタンダード）
 - ・「見つける」「考える・やってみる」「まとめる」「広げる・深める」という流れで構成されており、板橋区授業スタンダードの流れに沿っている。
 - ・各学年の最後に記載された「〇年生のまとめ」のページを活用して自らの学びを振り返ることができるようになっていると、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。
 - ・二次元コードが第3・4学年で13個、第5・6学年で26個掲載されている。
- 大修館書店
 - ・第3・4学年、第5・6学年ともに、「タブレットを使って楽しく学ぼう！」のページが設定されており、一人一台端末の活用方法が分かりやすく示されている。
 - ・「ステップ1」（課題をつかむ）「ステップ2」（課題を解決する）「ステップ3」（学習をまとめる）という流れで構成されているため、課題解決的な学習につなげやすい。
 - ・各単元末に記載された「学習をふり返ってみよう」のページを活用して自らの学びを振り返ることができるようになっているなど、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。
 - ・二次元コードが第3・4学年で20個、第5・6学年で38個掲載されている。
- 文教社
 - ・第5・6学年では、単元の内容に応じてアスリートや歯科医師、警察官からのメッセージが掲載されている。
 - ・「学習のめあて」を明示するとともに、本時の流れが「本時のメニュー」として示されているため、児童が学ぶ内容が明確になっている。
 - ・毎時間の振り返りとして「もう一歩先の自分へ」という項目が設定されており、自己調整しながら主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。
 - ・二次元コードが第3・4学年で6個、第5・6学年で23個掲載されている。
- 光文書院
 - ・オリンピックやパラリンピアン、作家やミュージシャンからのメッセージが掲載されており、多様な生き方と健康の関連について考えることができる内容になっている。
 - ・「自分の生活を振り返る」「学習の課題をつかむ」「課題解決に向けて学習活動をする」「学習をまとめる」「自分の生活に生かす」という流れで構成されており、学習内容を自己の生活につなげやすくなっている。
 - ・各単元の導入ページにおいて、その単元をなぜ学ぶのかという意義がマンガで示されており、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。
 - ・二次元コードが第3・4学年で15個、第5・6学年で26個掲載されている。
- Gakken
 - ・各単元末に設定されたまとめのページを活用することで、学習内容と現在の自己の生活や未来の生活と結び付けることができる内容となっている。
 - ・「振り返る」「話し合う」「学びを生かす」の3段階の流れで構成されているため、学習内容を自己の生活につなげやすくなっている。
 - ・単元の始めのページに、学習する内容や他教科との関連が示されており、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。
 - ・二次元コードが第3・4学年で16個、第5・6学年で25個掲載されている。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第6学年P44「病気の予防」では教科書を使って調べたり、意見を伝え合ったりできるなど基礎的な知識が身に付く内容である。</p> <p>○第5学年P6「心の健康」では不安や悩みがあるときの自分なりの解決方法を書きこめるなど、自分の考えを表現できるような内容である。</p> <p>○第4学年P28「体の成長とわたし」では、自分自身の身長伸びをグラフや計算式で表せるようになっているなど、主体的に学習に取り組む態度を養うことができる内容である。</p> <p>○第3学年の巻頭で「どんな自分になりたいか」問いかけ、第6学年の巻末で「どんな自分になれたか」確認するなど、自分自身を振り返ることを大事にしており、キャリア教育につながる内容である。</p>	<p>○第5学年P13「不安や悩みがあるとき」では、児童自身の悩みを直接記入させるようになっているため、他者に見えないようにする等の配慮が必要である。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という流れで単元が構成されており、板橋区授業スタンダードの流れに沿っている。</p> <p>○一単位時間あたり4ページから6ページで構成されている。</p> <p>○発展的な内容として、第4学年P38「性と自分らしさ」第5学年P42「熱中症」第6学年P53「新型コロナウイルス」についてそれぞれ1ページ以内で掲載している。</p>	<p>○第6学年P56からP57「生活習慣病の予防」では、円グラフ、専門用語の説明、文章、イラスト、二次元コードを活用した動画資料など、多様な種類の資料が数多く掲載されており、1単位時間あたりの情報量が多い。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○第4学年P34「思春期にあらわれる変化」では体の変化について、男子特有の変化、女子特有の変化、男女共通の変化と分類して表記するなど、表記・表現が適切である。</p> <p>○二次元コードが第3・4学年で32個、第5・6学年で68個掲載されている。</p> <p>○知識として着実に定着させたい言葉を太字で目立たせるなど、配慮されている。</p>	<p>○第5学年「自然災害によるけがの防止」内で家屋の倒壊、津波、火災の写真が使用されている。</p>
使用上の便宜	<p>○ワークシート等がなくても児童が書き込みながら学習を進めることができるように配慮されている。</p> <p>○大きさはA4版で、第3・4学年は45ページで152グラム、第5・6学年は77ページで重さが237.5グラムある。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを採用している。再生紙・植物油インキを使用している。</p>	<p>児童が学習のまとめを記入する欄が左上に設定されているため、右利きの児童にとっては書きづらい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

発行者 【 大日本図書 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第6学年P42「病気の起こり方」では自己の経験を振り返ることから始まり、教科書を使って調べたり、話し合ったりすることで基礎的な知識が身に付く内容である。</p> <p>○各単元で児童同士で話し合う場面を想定しており、思考力、判断力、表現力等の能力を育む内容である。</p> <p>○各学年の最後に記載された「○年生のまとめ」のページを活用して自らの学びを振り返ることができるようになっており、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○学習内容を実生活に活かせるよう「活かそう」という書き込める欄があり、内容となっており、自分の生き方につなげた「振り返り」ができるようになっている。</p>	<p>○第5学年「けがや事故の原因」では、単純な状況のみを示したイラストから原因を探る内容となっている。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○「見つける」「考える・やってみる」「まとめる」「広げる・深める」という流れで構成されており、板橋区授業スタンダードの流れに沿っている。</p> <p>○基本的に一単位時間あたり2ページで構成されている。資料の量によって4ページで構成されているものもある。</p> <p>○発展的な内容として、第4学年P39で「さまざまな性」第5学年P36で「プライベートゾーン」P38で「熱中症」、第6学年P48で「新型コロナウイルス」についてそれぞれ1ページ以内で掲載している。</p>	<p>○学習のまとめとなる「まとめる」の欄には、初めから全て内容が記載されているため、児童が自分の言葉でまとめることにつながらない。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○第4学年P30からP31「思春期にあられる体の変化」では「思春期」や「性器」などの用語を分かりやすく説明するなど、表記・表現が適切である。</p> <p>○二次元コードが第3・4学年で13個、第5・6学年で26個掲載されている。</p> <p>○内容によって文章の文字の大きさを変えるなど、配慮されている。</p>	<p>○重要語句が太字で強調されていない。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○巻頭に示されている折り込みカードのページを使い、情報を制限することで児童の主体的な学びにつなげられるようになっている。</p> <p>○大きさはA4版で、第3・4学年は45ページで187.5グラム、第5・6学年は69ページで重さが265グラムある。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを採用している。環境に配慮した紙・植物油インキを使用している。表紙は光触媒を利用した抗菌・抗ウイルス処理をしている。</p>	<p>○児童が自分の気付きや考えを書きこむ欄が少ない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

発行者 【 大修館書店 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第6学年P46「病気の起こり方」では、課題に対して自ら考えたり、教科書から読み取ったことをまとめたりする活動を通して、基礎的な知識が身に付く内容である。</p> <p>○課題を解決するための活動として第3学年、第4学年では「話し合おう」「考えよう」「調べよう」、第5学年、第6学年ではそれに加え「やってみよう」の活動を示し、思考力、判断力、表現力等の能力を育む内容である。</p> <p>○各単元末に記載された「学習をふり返ってみよう」のページを活用して自らの学びを振り返ることができるようになっていたりなど、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○第3・4学年、第5・6学年ともに、巻頭に「タブレットを使って楽しく学ぼう！」のページが設定されており、一人一台端末の活用方法が分かりやすく示されている。</p>	<p>○第5学年P39「けがの手当」では、具体的な手当の方法についての動画資料がなく、イラストと文章からのみの説明となっている。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○どの単元も「ステップ1」（課題をつかむ）「ステップ2」（課題を解決する）「ステップ3」（学習をまとめる）という流れで構成されているため、課題解決的な学習につなげやすい。</p> <p>○どの単元も一単位時間あたり2ページから4ページで構成されている。</p> <p>○発展的な内容として、第4学年P47で「よりよい関係づくり」、第5学年P40で「熱中症」、第6学年P54、P55で「新型コロナウイルス」、P69「スマホ・ゲーム依存」について掲載している。</p>	<p>○本時で押さえない知識が「ステップ2」（課題を解決する）と「ステップ3」（学習をまとめる）の間に記載されており、強調されていないため、分かりにくい。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○第4学年「思春期の体の変化」では初経や精通について、「わたしからのアドバイス」という形式で、児童に安心を促す表現が用いられるなど、表記・表現が適切である。</p> <p>○二次元コードが第3・4学年で20個、第5・6学年で38個掲載されている。</p> <p>○第5学年P33「学校や地域でのけがの防止」では、学校や地域での安全な環境づくりに関する写真を12枚使用している。</p>	<p>○第5学年「不安や悩みへの対処②」（P18）で示されている棒グラフの出典年次が明記されていない。</p>
使用上の便宜	<p>○どの単元も、教科書右下の欄に、児童が自らまとめを記述するようになっている。</p> <p>○大きさはA4版で、第3・4学年は49ページで156.5グラム、第5・6学年は73ページで重さが213.5グラムある。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを採用している。環境に配慮した紙・植物油インキを使用している。表紙は光触媒を利用した抗菌・抗ウイルス処理をしている。</p>	<p>○文章中の大切なキーワードがゴシック太字となっているが、目立たない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

発行者 【 文教社 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第6学年P48からP50「病気の予防」では、風邪をひく原因を9つのケースから選んだり、病気の理由について自分の言葉で書いたりする活動を通して、基礎的な知識が身に付く内容である。</p> <p>○各単元末に、学んだことを生かして自己の行動を改善しようとすることを表現する「わたしの●宣言」の欄が設けられているなど、思考力、判断力、表現力等の能力を育む内容である。</p> <p>○毎時間の振り返りとして「もう一歩先の自分へ」という項目が設定されており、自己調整しながら主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○第5・6学年では、単元の内容に応じてP55アスリートやP64歯科医師、P82警察官からのメッセージが掲載されている。</p>	<p>○第5学年P14「不安や悩みへの対処①」では、児童自身の悩みを直接記入させるようになっているため、他者に見えないようにする等の配慮が必要である。</p>
構成・分量	<p>○どの単元も「学習のめあて」を明示するとともに、本時の流れが「本時のメニュー」として示されているため、児童が学ぶ内容が明確になっている。</p> <p>○どの単元も一単位時間あたり2ページから5ページで構成されている。</p> <p>○第5学年P30で「自転車の安全点検」、P44で「熱中症」、P51で第6学年で「新型コロナウイルス」についてそれぞれ1ページ以内で掲載している。</p>	<p>○教科書に示された流れで学習を進めると考えを伝えたり、発表したりするなどのアウトプットの場面を設定しづらい。</p>
表記・表現	<p>○第4学年P27「思春期の体の変化」では「変化の時期は、みんな同じなのかな？」など、個人差があることに配慮した表記があり、表記・表現が適切である。</p> <p>○二次元コードが第3・4学年で6個、第5・6学年で23個掲載されている。</p> <p>○単元の導入では一面に広がるような大きな写真を活用している。</p>	<p>○学習の流れの中に「Mission」「Stage」など、児童にとって分かりにくい文言が使用されている。</p>
使用上の便宜	<p>○振り返りにあたる「もう一歩先の自分へ」の項目では自分自身について直接記述しながら振り返ることができる。</p> <p>○大きさはA4版で、第3・4学年は37ページで155グラム、第5・6学年は83ページで重さが309.5グラムある。</p> <p>○カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮して編集している。森林認証紙、環境に配慮したインキを採用している。</p>	<p>○児童が自分の気付きや考えを書きこむ欄が少ない。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

発行者 【 光文書院 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第5学年P8からP11「心の発達」では、教科書から調べたり、自分の経験を振り返って分かったことを記述したりする活動を通して、基礎的な知識が身に付く内容である。</p> <p>○学習の流れの中で「考えよう」や「話し合おう」といった活動が設けられているなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。</p> <p>○各単元の導入ページにおいて、その単元をなぜ学ぶのかという意義がマンガで示されており、主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○巻頭にオリンピックやパラリンピアン、作家やミュージシャンからのメッセージが掲載されており、多様な生き方と健康の関連について考えることができる内容になっている。</p>	<p>○各学年末に「学習のまとめ」のページが設定されているが、言葉を選択するのみとなり、基礎的な知識を振り返るにはやや内容が不足している。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○どの単元も「自分の生活を振り返る」「学習の課題をつかむ」「課題解決に向けて学習活動をする」「学習をまとめる」「自分の生活に生かす」という流れで構成されており、学習内容を自己の生活につなげやすくなっている。</p> <p>○一単位時間あたり2ページから4ページで構成されている。</p> <p>○第3学年P15で「スマートフォンなどの使い方と生活のリズム」第4学年P33で「性についての悩み」第6学年P46で「新型コロナウイルス」についてそれぞれ1ページ以内で掲載している。</p>	<p>○学習のまとめとなる「まとめる」の欄には、初めから全て内容が記載されているため、児童が自分の言葉でまとめることにつながらない。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○第4学年「思春期の体の変化」では体の変化の様子について、単純化した絵や図を用いて工夫して表現するなど、表記・表現が適切である。</p> <p>○二次元コードが第3・4学年で15個、第5・6学年で26個掲載されている。</p> <p>○「健康な生活」はオレンジ、「体の発育と健康」は青など、単元ごとにテーマカラーが決まっている。</p>	<p>○第3学年「健康な生活」P10の中で文字が小さく読みにくい表現がある。</p>
使用上の便宜	<p>○第3学年、第4学年の巻末、第5学年、第6学年の巻末ではSDGsについて扱っており、保健の学習とSDGsとの関連を理解できるようにしている。</p> <p>○大きさはA4版で、第3・4学年は41ページで134グラム、第5・6学年は65ページで重さが195.5グラムある。</p> <p>○カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮して編集している。ユニバーサルデザインフォントを採用している。環境に配慮した紙および植物油インキを使用している。</p>	<p>○第5・6学年の教科書内において、中学校とのつながりについての記載がなく、系統性の意識がもちにくい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 保 健 】

発行者 【 Gakken 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○第4学年P32「大人に近づく体」では、課題に対して自分の考えを記入したり、教科書から読み取ったりすることで、基礎的な知識が身に付く内容である。</p> <p>○学習の流れの中で「話し合おう」や「意見を出し合おう」といった活動が設けられているなど、思考力、判断力、表現力等を育む内容である。</p> <p>○単元の始めのページに、学習する内容や他教科との関連が示されており、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組む態度を養う内容である。</p> <p>○各単元末に設定された「振り返る」「伝える」「つなぐ」というまとめのページを活用することで、学習内容と現在の自己の生活や未来の生活と結び付けることができる内容となっている。</p>	<p>○第5学年P39「けがの防止」の発展では、インターネットのトラブル防止が扱われているが、情報量が少ない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○どの単元も「振り返る」「話し合う」「学びを生かす」の3段階の流れで構成されているため、学習内容を自己の生活につなげやすくなっている。</p> <p>○一単位時間あたりおおむね4ページで構成されている。</p> <p>○第4学年P24で「タブレットを使うときには」第4学年P45で「性についての心の多様性」第5学年P43で「熱中症」第6学年P57で「新型コロナウイルス」、P77で「医薬品の正しい使い方」についてそれぞれ1ページ以内で掲載している。</p>	<p>○第3学年P20からP23の「身の回りのかんきょう」では一単位時間当たりに教科書に書き込む箇所が7箇所とやや多い。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○第4学年の「体の発育・発達」では単元名を「体の中で起こる変化」とすることでよりよい理解を促すなど、表記・表現が適切である。</p> <p>○二次元コードが第3・4学年で16個、第5・6学年で25個掲載されている。</p> <p>○「話し合おう」「自分の考えを書こう」など、学習活動につながる文言が太字で表されている。</p>	<p>○第5学年P44「自然災害や緊急事態に備えて」で扱われている写真は、家屋の倒壊、津波、火災の写真が使用されており、震災を経験した児童への配慮が必要である。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○教科書の巻頭に「みんなで学びを深めよう」の欄が設定され、見方・考え方を使った学び方が示されている。</p> <p>○大きさはA4版で、第3・4学年は49ページで134グラム、第5・6学年は89ページで重さが252.5グラムある。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮して製作している。ユニバーサルデザインフォントを採用している。環境に配慮した紙、植物油インキを使用している。</p>	<p>○第3学年の発達段階においては、一単位時間に4ページの学習内容はやや多い。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

小 学 校 【 英 語 】

調査委員長

菊池 宏一

総 評

- 東京書籍
 - ・ほぼ全てのページに書き込む欄があり、「書くこと」を意識した内容となっている。
 - ・全てのUnitの学習の流れが「Starting Out → your turn → Enjoy Communication → Over the Horizon」となっており、指導者も学習者も見通しがもてる構成になっている。
 - ・スピーチやプレゼンテーションを作成する準備過程が書き留められるので、児童がsmall stepで考えながら学習を進めることができる。
 - ・付録のDictionaryを使用するページの指示が的確で、学習者が活用しやすい。
- 開隆堂出版
 - ・単元の導入では、簡単なゲームやアクティビティなどを行い、「話すこと」を重視した内容となっている。
 - ・場面設定が日本語で詳しく書かれているため、児童がイメージをもちやすく、学習に見通しをもつことができる。
 - ・第3学年、第4学年の外国語活動で学んだことのつながりを意識した構成になっている。
 - ・各学年用のWord Bookがあり、児童にとって使いやすく、指導者にとっても指導しやすい。
- 三省堂
 - ・学習の流れ（Let's watch - Listen - Speak - Play - Talk） + （Read & Write）が統一されており、見通しをもって学習を進められる。
 - ・単元末尾にあるFun Boxは、既習内容を復習する上で有効であり、自学自習に訳に立つ内容である。
 - ・第5学年P39「世界のおはなし」、5年P50「Hello World」等が、発展的な内容であり、異文化理解をする上で有効である。
 - ・巻末にある英文を書くカードが充実しており、表現の幅が広がる。
- 教育出版
 - ・Lesson内容は、Let's Watch → Let's Listen → Activityと設定しており、「聞くこと」「話すこと」を中心にコミュニケーションに慣れる場面をLessonのまとめとしている。
 - ・各LessonごとのGoalが提示されており、Lessonの振り返りはクローバーの三つ葉（3段階評価）となっている。
 - ・二次元コードの中に、音声・動画・音楽のどれかが分かるよう表記がある。
 - ・教科書のサイズが小さめ（26cm×20.5cm）なので、机での作業スペースがとれる。
- 光村図書出版
 - ・unitがHop→Step→Jumpの構成になっており、単元のゴールに向かい、何をどのように学んでいくかが、明確に示されているため、指導者も学習者も見通しをもつことができる。
 - ・国語と関連させて、第5学年P30のように、言葉について考える内容が設定されている。
 - ・各STEPの右ページ下にpicture dictionaryの参照すべきページが記載されており、活用しやすい。
 - ・教科書のサイズが小さめ（26cm×20.5cm）なので、机での作業スペースがとれる。
- 新興出版社啓林館
 - ・各unitにGoalを設定しており、Stepごとの児童の活動のめあてが示されている。
 - ・5、6年ともに、巻頭に「コミュニケーションに大切なこと」として「発表」「やりとり」、巻末に「会話を楽しむフレーズ集」など、activityを行う際のアドバイスが掲載している。
 - ・各unitのstep3に「Friend around the World」という「聞くこと」のコーナーがあり、同世代の生活を取り上げることで、より世界に関心を高めることができる。
 - ・各「chant」のコーナーでは、強くする発音を赤丸で示し、発音の上げ下げを青の矢印で示すことで、発音を意識することができる。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○全てのUnitの学習の流れが「Starting Out →your turn→Enjoy Communication → Over the Horizon」となっており、指導者も学習者も見通しがもてる構成になっている。</p> <p>○ほぼ全てのページに書き込む欄があり、「書くこと」を意識した内容となっている。</p> <p>○単元や一単位時間のめあてが明確となっており、各単元の最後は、世界に視点をおいためあてとなっている。</p> <p>○英語を書かせる場合は、4線を設定し、6年のP2, 3において、名前の書き方、単語の書き方、文の書き方のポイントが提示されていたり、複数の文を書かせる際には例文があるなど、「書くこと」の活動を段階的に進めることができる。</p>	<p>○2ページを1単位時間で扱う流れになっており、記述する箇所が多く設定され、「話すこと・聞くこと」に欠かせない例文や発話する量が少ない。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○check your stepsを活用することにより、Hop→step→jumpと自己評価ができるとともに、別冊の巻末Can doの樹によってできたことが把握しやすい。</p> <p>○スピーチやプレゼンテーションを作成する準備過程が書き留められるので、児童がsmall stepで考えながら学習を進めることができる。</p>	<p>○やや総合的な学習のようなイメージマップやチャートの書き込みが多く、教科書というよりワークブックのようにになっている。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○二次元コードが第5学年に76、第6学年に72、別冊に58ある。</p> <p>○設問やactivityの指示がわかりやすく、児童が主体的に取り組むことができる。</p> <p>○見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。</p>	<p>○第5学年巻頭のように、二次元コードが、閉じページ側にあるところが数か所あり、読み取りにくいことが懸念される。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○重さは5年、6年ともに270g、付録のDictionary130gである。</p> <p>○巻末の絵カードにミシン目があり、絵カードやコミュニケーションカードも多く活用しやすい。</p> <p>○付録のDictionaryを使用するページの指示が的確で、学習者が活用しやすい。またP42のCan doの樹は、具体的にできたことが分かり、所見を記載する際にも活用できる</p>	<p>○Dictionaryが5, 6年共通のため、耐久性に不安がある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 開隆堂出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○単元または一単位時間のゴールが明確に示されている。 ○単元の導入では、簡単なゲームやアクティビティなどを行い、「話すこと」を重視した内容となっている。 ○単元の終わりに、Around the World というコラムや、Story Timeという物語を掲載し、児童の興味・関心を高める工夫がある。 ○関連教科やSDGsとのつながりがマークで記載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」については、ノートなどを使って補充が必要である。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○Let's play の内容がゲーム的要素を盛り込んでいるため、児童の学習活動に対する意欲を引き出す工夫が見られる。 ○第5学年P8、P9のように、第3学年、第4学年の外国語活動で学んだことのつながりを意識した構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末カードの量が52枚と少ないため、指導の際に工夫が必要である。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○場面設定が日本語で詳しく書かれているため、児童がイメージをもちやすく、学習に見通しをもつことができる。 ○基本的な色合いが、カラーユニバーサル視点から、児童が見やすくなるように配慮されている。 ○二次元コードが第5学年教科書に57、第5学年ワードブックに51、第6学年教科書に57、第6学年ワードブックに53掲載されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第6学年の最後の単元（P100）で紹介されている有名人たちについて、子どもたちにはなじみが薄い可能性がある。（佐野豊さん、高橋尚子さん、小柴昌俊さん）
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○重さは5年、6年ともに330g、Word Book100gである。 ○各学年用のWord Bookがあり、学習者にとって使いやすく、指導者にとっても指導しやすい。また、教科書とWord Bookが同じ大きさなので、持ち運びしやすい。 ○教科書の折り込みページが巻末にまとめられているため、ページをめくりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○CAN - D0チェックのスペースが狭いため、教科書への記述が十分にできない。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 三省堂 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○学習の流れ（Let's watch - Listen - Speak - Play - Talk）＋（Read & Write）が統一されており、見通しをもって学習を進められる。</p> <p>○単元のはじめに、ゴールが書かれており、一単位時間ごとのめあてはページが進むごとに表記されている。</p> <p>○ページ右下のミニ情報が充実しており、英語を理解する上で有効である。</p> <p>○単元末尾にあるFun Boxは、既習内容を復習する上で有効であり、自学自習に訳に立つ内容である。</p>	<p>○第5学年P17 Let's Playの内容が難しく、児童にとってなじみのない人物の可能性はある。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○第6学年の巻末（This is me!!）は、復習したことを記入して、掲示物としても活用できる。</p> <p>○第5学年P39「世界のおはなし」、5年P50「Hello World」等が、発展的な内容であり、異文化理解をする上で有効である。</p>	<p>○第5学年Let's Read & Writeで使用する巻末ワークシートの単語の文字が小さい。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○二次元コードが各ページの右上に第5学年が54、第6学年が55、My Dictionaryが62あり、使いやすく読み取りやすい。</p> <p>○紙面に適度な余白があり、見やすい。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮して編集されており、また、環境にやさしい用紙とインキを採用している。</p>	<p>○人物のイラストが場面により異なり、統一感がないものがある。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○重さは、5年、6年ともに300g、My Dictionaryは115gである。</p> <p>○巻末にある英文を書くカードが充実しており、表現の幅が広がる。</p> <p>○My Dictionary P44～45の「CAN - DO」によって、学習したことを振り返ることができ、評価にも活用しやすく、また、P46～49に「さくいん」があることで、分からない単語を調べやすい。</p>	<p>○Dictionaryが5、6年共通のため、耐久性に不安がある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○Lesson内容は、Let's Watch→ Let's Listen → Activityと設定しており、「聞くこと」「話すこと」を中心にコミュニケーションに慣れる場面をLessonのまとめとしている。</p> <p>○各LessonごとのGoalが提示されており、Lessonの振り返りはクローバーの三つ葉（3段階評価）となっている。</p> <p>○sounds and lettersで音声を「聞くこと」を、Reviewでアルファベットや文を「書くこと」を扱うページとなっている。</p> <p>○第5学年P41のようにLet's Look at the Worldでは、SDGsを意識した内容となっている。</p>	<p>○一単位時間ごとのめあてはない。</p>
構成・分量	<p>○activityでは、友だちとのインフォメーションギャップを意識したインタビュー（クイズ）を活動に活かしている。</p> <p>○第5学年、第6学年ともに「はってん」としてEnjoy the musicを扱っており、歌を通して英語に慣れ親しむようになっている。</p>	<p>○5, 6年ともに見開きで名所・名物マップがあるが、必要な情報を得るために指導を工夫する必要がある。</p>
表記・表現	<p>○紙面に適度な余白があり、資料や絵を見ればやるべき活動が分かりやすい。</p> <p>○二次元コードが第5学年教科書に71、第6学年教科書に59掲載されており、二次元コードの中に、音声・動画・音楽のどれかが分かるよう表記がある。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインを採用してる。</p>	<p>○5, 6年ともに同じキャラクターを登場させてはいるが、一貫性がなく親しみにくいと感じる児童がいる可能性がある。</p>
使用上の便宜	<p>○重さは、5年320g、6年320gである。</p> <p>○5, 6年ともに巻頭にクラスルーム・イングリッシュやタブレット端末の使い方、学校生活で気を付けることを音声で案内している。</p> <p>○26cm×20.5cmのサイズなので机での一人一台端末と一緒に出しても、作業スペースがとれる。</p>	<p>○5年巻末に活動用シールがあるが、シールだと一度貼ってしまうと変更等がしにくい。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○単元のゴールに向かい、何をどのように学んでいくかが、明確に示されているため、指導者も学習者も見通しをもつことができる。</p> <p>○国語と関連させて、第5学年P30のように、言葉について考える内容が設定されている。</p> <p>○発展的な内容として、第6学年P61のように、ICTを活用した学習についてのページや、第6学年P94、95の「English Festivalを開こう。」など、楽しく意欲的に活動ができる内容になっている。</p> <p>○SDGsに関わる環境問題を多く取り上げており、英語の物語を通して考えることができる。</p>	<p>○「書くこと」の活動が少ないため、指導を工夫する必要がある。</p>
構成・分量	<p>○トピックとして「世界の友達」が各学年に配置されており、世界の同世代を知り、さらに世界に興味を広げるきっかけになる。</p> <p>○脚注に、英語らしく発音するためのヒントが紹介されている。</p>	<p>○Can do Listが☑のみの評価となっており、自己評価を記載することができない。</p>
表記・表現	<p>○二次元コードが第5学年に56、Picture Dictionaryに31、第6学年に54、Picture Dictionaryに24、掲載されている。</p> <p>○児童の学習負担を軽減するため、アルファベットが読みやすく、書き文字との差があまりない書体が使われている。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインを採用している。</p>	<p>○なぞり書きや、書き出しが示されていない箇所もあり、書くことを苦手としている児童には指導をしにくい部分がある。</p>
使用上の便宜	<p>○重さは、5年360g、6年330gである。</p> <p>○各STEPの右ページ下にpicture dictionaryの参照すべきページが記載されており、活用しやすい。</p> <p>○26cm×20.5cmのサイズなので机での一人一台端末と一緒に出しても、作業スペースがとれる。</p>	<p>○ピクチャーディクショナリーの日本語の説明が少なく、絵から類推するのが難しいものがある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 英 語 】

発行者 【 新興出版社啓林館 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○各unitにGoalを設定しており、Stepごとの児童の活動のめあてが示されている。</p> <p>○「書くこと」「読むこと」の内容をUnitの終わりにまとめて設定している。</p> <p>○各unitのstep3に「Friend around the World」という「聞くこと」のコーナーがあり、同世代の生活を取り上げることで、より世界に関心が高めることができる。</p> <p>○生活をよくするための工夫として、SDGsについて第6学年P48、49に特設ページを設け、各国の取組が掲載されている。</p>	<p>○英文を書くページが豊富に設けられているが、書く量が多く、「書くこと」が苦手な児童への支援が必要となる。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○第5学年、第6学年ともに、巻頭に「コミュニケーションに大切なこと」として「発表」「やりとり」、巻末に「会話を楽しむフレーズ集」、activityを行う際に、Tipsとしてコミュニケーションする際のアドバイスを掲載している。</p> <p>○「Did you know?」やChallengeでは、世界のカルチャーを知ったり、activityを発展させたりできる。</p>	<p>○Can do Listが☑のみの評価となっており、自己評価を記載することができない。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○各「chant」のコーナーでは、第5学年P37のように、強くする発音を赤丸で示し、発音の上げ下げを青の矢印で示すことで、発音を意識することができる。</p> <p>○二次元コードが第5学年教科書に132、第6学年教科書に134掲載されている。</p> <p>○見やすいユニバーサルデザインフォントや個人の特性にかかわらず、内容が伝わりやすい配色やデザインを使用している。</p>	<p>○二次元コードがページの内側にある箇所があり、読み取りにくい。</p>
使用上の便宜	<p>○重さは、5年385g、6年380gである。</p> <p>○巻末にWord listがあり、扱う単語数も多い。（第5学年のP108～P128）</p> <p>○絵カードのミシン線も切り取りやすい。</p>	<p>○巻末の会話をを楽しむフレーズにミシン線があり切り離すことができるが、活用方法については、工夫が必要である。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
小 学 校 【 道 徳 】

調査委員長

松野 薫子

総 評

- 東京書籍（別冊ノートなし）
 - ・全学年のP6・7に道徳の学び方として、「気づく→考える→広げる・深める」という学び方が示され、板橋区授業スタンダードに沿った学習展開を行いやすい。
 - ・地域教材は、第6学年P25のように自分たちのまちのよいところについて考える内容になっており、iカリキュラムとつなげて指導しやすい。
 - ・「つながる・広がる」では、詩、多数の写真や学校で歌われている曲の歌詞など、他教科の学習や実生活と関連した内容を取り上げている。
 - ・考えるためのツールとして、〈こころのメーター〉〈こころのものさし〉〈こころのちず〉が巻末に載っている。〈こころのメーター〉はインターネットでも使用可能となっている。
- 教育出版（別冊ノートなし）
 - ・全学年のP4・5に「考えよう」「深めよう」「つなげよう」という学び方が示され、めあてをもって主体的に解決をする流れを行いやすい。
 - ・第2学年P43のように、「特に大切にしているテーマ」として取り上げられている教材のあとには必ずコラムがついており、より学びを深くすることができる。
 - ・教材文の終わりに、「しっかり考えられた」「新しく気付いたことがあった」「大切にしたいことがわかった」と自己評価を記入する欄がある。
 - ・ほぼ全ての教材に「まなびリンク」として、教科書の二次元コードで読み取り、教材の解説や資料が出せるようになっている。
- 光村図書出版（別冊ノートなし）
 - ・第2学年～第6学年のP8・9に「道徳みちあんない」として、1年間の流れが示されている。
 - ・第1学年P80のように、「演じて考えよう」が各学年に設定されており、演技をすることだけではなく、その演技から考えられることを話し合えるよう活動例が示されている。
 - ・巻末に、内容項目別教材一覧や現代的な課題等との関わりがまとめられている。
 - ・第5学年P54・62のように掲載されている写真が鮮明で、内容によく合っている。
- 日本文教出版（別冊ノートあり）
 - ・第1学年P16のように、本編教材に関連する問題解決的な学習や体験的な学習を促す「ぐっと深める」が各学年で設定されている。
 - ・P2・3に「道徳のとびら」P4・5に「道徳の学び方」があり、道徳の授業開きや、学習の見通しをもたせるために活用しやすくなっている。
 - ・教材と道徳ノートに全て二次元コードが付いており、各教材のスタートがすべて見開きになっている。
 - ・教科書の巻末に、内容項目別教材一覧や現代的な課題等との関わりがまとめられている。
- 光文書院（別冊ノートなし）
 - ・日本や地域の伝統・文化に触れる教材では、第5学年「世界の文化遺産（P82）」のように、地域や文化財を指定している内容と、第2学年「ぼくのまちも、ひかってる！（P64）」のように、自分の地域で活用できるようにはっきりさせていない内容のものと両方ある。
 - ・全学年の巻頭P2・3に「ゆたかな心」があり、道徳の授業開きや学習の見通しをもたせるために活用しやすくなっている。
 - ・教材の最後に「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」があり、問題解決的な流れを意識した構成になっている。
 - ・全学年でP6・7に「いろいろなやり方で考えてみよう」があり、考えを整理する方法を表すページがある。
- Gakken（別冊ノートなし）
 - ・板橋区で実際に児童が行った出来事が題材として扱われている。（第6学年P156～P159「届け！ぼくらの願い」）
 - ・全学年「道徳の学習が始まるよ（P8・9）」では、第1・2学年で道徳の学習内容、第3・4学年で自分を見つめ深めるポイント、第5・6学年で考えを深めるステップが記載されている。
 - ・各教材のスタートがすべて見開きになるよう配慮されている。
 - ・全学年P2、3で「つながる私 広がる私」では、教育課題の紹介と自分のことを記述することができ、自分の興味や関心のあるものと道徳科との関わりを知ることができる。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

発行者 【 東京書籍 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○スタートカリキュラムで活用できる教材が7時間分あり、保幼小接続に対応しているため、児童がスムーズに道徳の学習に入ることができる。 ○地域教材は、第6学年P25のように自分たちのまちのよいところについて考える内容になっており、iカリキュラムとつなげて指導しやすい。 ○全学年のP6、7に道徳の学び方として、「気づく→考える→広げる・深める」という学び方が示され、板橋区授業スタンダードに沿った学習展開を行いやすい。 ○「つながる・広げる」の資料では、第6学年P103のように考えさせるページがあるため、学級での指導に活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第6学年教材に「ばかじゃん」というタイトルの教材がある。ただし、内容的には自分ごととして考えやすい。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文に「安全・安心」「いじめについて」「情報モラル」「いのちについて」「じぶんについて」という5つのユニット（まとまり）が取り入れられている。 ○本編教材は、第1学年は34編、第2学年～第6学年は35編ある。 ○「つながる・広げる」では、詩、多数の写真や学校で歌われている曲の歌詞など、他教科の学習や実生活と関連した内容を取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○補助教材がないので、道徳の余剰時間がある場合には、東京都教材集や他の教材を活用するか、2時間扱いなどで工夫をする必要がある。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○本教材35編、ほぼすべての教材に二次元コードがあり、多様なコンテンツで学びを広げることができる。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第1学年P30のように、教材文が見開きで完結しておらず、次の教材が始まっているものがあり、児童の集中を削ぐ可能性がある。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○考えるためのツールとして、〈こころのメーター〉〈こころのものさし〉〈こころのちず〉が巻末に載っている。〈こころのメーター〉はインターネットでも使用可能となっている。 ○「つながる・ひろがる」には内容項目と関連した書籍の紹介やコラム、動画がある。 ○AB版で横幅が広い。重さが他の教科書に比べて軽い（第1学年：141ページ、第2学年：157ページ、第3学年171ページ、第4学年171ページ、第5学年179ページ、第6学年187ページ） 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末にある「学習の記録（心に残ったお話について書きましょう。）」は、一つの枠が縦10.7cm、横4.3cmで、罫線が4本であり、児童にとって小さいと感じる可能性がある。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

発行者 【 教育出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○現代的な課題に対応した教材がある。(例 3年「エプロン」(P42)「おそろしいゲームいぞん」(P50)) ○LGBTについて取り扱う教材がある。(3年:「タンタンタンゴはパパがふたり」P124) ○全学年のP4・5に「考えよう」「深めよう」「つなげよう」という学び方が示され、めあてをもって主体的に解決をする流れを行いやすい。 ・第6学年P176のように、巻末には、SDGsとの教材が記載されており、関連教材が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スタートカリキュラムで活用できる教材が3時間分である。
構 成 ・ 分量	<ul style="list-style-type: none"> ○本編教材のみの扱いで、本編教材が第1学年で30編、補充教材が4編、第2学年～第6学年で30編、補充教材が5編ある。 ○第2学年P43のように、「特に大切にしたいテーマ」として取り上げられている教材のあには必ずコラムがついており、より学びを深くすることができる。 ○教材文の終わりに、「しっかり考えられた」「新しく気付いたことがあった」「大切にしたいことがわかった」と自己評価を記入する欄がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○補助教材がないので、道徳の余剰時間がある場合には、東京都教材集や他の教材を活用するか、2時間扱いなどで工夫をする必要がある。
表 記 ・ 表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ほぼ全ての教材に「まなびリンク」として、教科書の二次元コードで読み取り、教材の解説や資料が出せるようになっている。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第1学年P29のように、教材文が見開きで完結しておらず、次の教材が始まっているものがあり、児童の集中を削ぐ可能性がある。
使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭に道徳の学び方について掲載されている。 ○巻末に学年の発達段階に応じた資料が掲載されている。 ○AB版で横幅が広い。(第1学年152ページ、第2学年152ページ、第3学年160ページ、第4学年160ページ、第5学年176ページ、第6学年176ページ) 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末の振り返りシートは切り取り線があり、児童が紛失してしまう恐れがあるなど、管理に工夫が必要である。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

発行者 【 光村図書出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○吹き出しに自分で言葉を書き入れられる教材（例 （第1学年P102「ジャングルジム」、第3学年P125「まわりを見つめて」）があり、児童の問題解決能力を育成することができる。</p> <p>・スタートカリキュラムで活用できる教材が7時間分あり、保幼小接続に配慮している。</p> <p>・第1学年P80のように、「演じて考えよう」が各学年に設定されており、演技をすることだけではなく、その演技から考えられることを話し合えるよう活動例が示されている。</p> <p>・各学年に教材とコラムを組み合わせた現代的な課題等との関わりで「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「国際理解」「共生・福祉」「キャリア教育・社会参画」などが設定されている。</p>	<p>○伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度の内容項目では、昔遊び、おせち、風呂敷、祭太鼓、曲げわっぱ、菅島を取り扱っており、似たような話合いの展開になってしまう可能性がある。</p>
構 成 ・ 分量	<p>○第2学年～第6学年のP8・9に「道徳みちあんない」として、1年間の流れが示されている。</p> <p>○教材の配列が、学期ごとにテーマを設け、発達段階に合わせて並べられている。</p> <p>○「こころをかよわそう」や「コラム」、「なんだろうなんだろう」（ヨシタケシンスケ）が、各学年に配置されており、考えたり話し合ったりできる発展的な内容になっている。</p>	<p>○補助教材がないので、道徳の余剰時間がある場合には、東京都教材集や他の教材を活用するか、2時間扱いなどで工夫をする必要がある。</p>
表 記 ・ 表現	<p>○第5学年P54・62のように掲載されている写真が鮮明で美しく、内容によく合っている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用している。</p> <p>○カラーユニバーサルデザインに配慮している。</p>	<p>○第5学年P33のように、教材文が見開きで完結しておらず、次の教材が始まっているものがあり、児童の集中を削ぐ可能性がある。</p>
使用上の便宜	<p>○巻頭の「どうとくがはじまるよ」では、道徳の学び方について、児童に分かりやすく示している。</p> <p>○巻末に、内容項目別教材一覧や現代的な課題等との関わりがまとめられている。</p> <p>○変形AB版（縦25.7cm、横19.2cm）である。他の教科書に比べて軽い。（第1学年128ページ、第2学年160ページ、第3学年176ページ、第4学年184ページ、第5学年192ページ、第6学年208ページ）</p>	<p>○第1～4学年に巻末のシールがあり、児童がシールを目的とする活動以外で使用する可能性がある。</p>

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目【 道 徳 】

発行者【 日本文教出版 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○第1学年の始めは、スタートカリキュラムとして活用できる教材が7時間分ある。 ○日本や地域の伝統文化に触れる教材を取り入れている。(第1学年：和菓子、第2学年：祇園祭り・花火、第3学年：ふろしき、第4学年：浮世絵、第5学年：和太鼓、第6学年：茶道など) ○第1学年P16のように、本編教材に関連する問題解決的な学習や体験的な学習を促す「ぐっと深める」が各学年で設定されている。 ○第4学年P78・79のように、各学年に設定されている「心のベンチ」は、授業で学んだ行動を児童が実践する助けとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材文の始めのリード文だけで児童が結末を予想し、教材を読んだ気になってしまう可能性がある。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○本編教材数が第1学年が34編、補助教材3編、第2学年～第6学年が本編教材35編と補助教材3編で構成されている。 ○第1学年～第4学年では、「善悪の判断、自律、自由と責任」「節度・節制」「親切・思いやり」「規則の尊重」「生命の尊さ」が3～4編ある。 ○P2・3に「道徳のとびら」P4・5に「道徳の学び方」があり、道徳の授業開きや、学習の見通しをもたせるために活用しやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳ノート第1学年では、マス目が採用されている。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○教材と道徳ノートに全て二次元コードが付いており、各教材のスタートがすべて見開きになっている。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○表紙や裏表紙の児童の写真に、一部体の部分が切れているものがあり、人権上の配慮が不足している。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の巻末に、内容項目別教材一覧や現代的な課題等との関わりがまとめられている。 ○各教材のスタートがすべて見開きになるよう配慮されている。 ○AB版で横幅が広い。(第1学年150ページ、第2学年166ページ、第3学年182ページ、第4学年186ページ、第5学年182ページ、第6学年190ページ) 	<ul style="list-style-type: none"> ○第1学年の初期に使用するノートの挿絵と教科書の挿絵が違うものがある。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

発行者 【 光文書院 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○第1学年の始めは、スタートカリキュラムで活用できる教材が6時間分ある。 ○情報モラルに関する教材が各学年に設定されている。 ○日本や地域の伝統・文化に触れる教材では、第5学年「世界の文化遺産（P 8 2）」のように、地域や文化財を指定している内容と、第2学年「ぼくのまちも、ひかっている！（P 6 4）」のように、自分の地域で活用できるようにはっきりさせていない内容のものと両方ある。 ○オリンピックに出場したことのある体操の内村航平選手（第3学年P 6 6）やラグビー日本代表選手（第4学年P 1 4 0）の教材があり、オリンピック・パラリンピック教育に活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第6学年最後の教材「わたしはひろがる（P 1 6 0）」は、中学校へ進学する内容になっていない。
構 成 ・ 分 量	<ul style="list-style-type: none"> ○本編教材数が第1学年が3 4編、補助教材6編、第2学年～第6学年が本編教材3 5編と補助教材5編で構成されている。 ○全学年の巻頭P 2・3に「ゆたかな心」があり、道徳の授業開きや学習の見通しをもたせるために活用しやすくなっている。 ○教材の最後に「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」があり、問題解決的な流れを意識した構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教材の最後に「かんがえよう」「まとめよう」「ひろげよう」について発問が4問あり、児童によっては多すぎてしまう可能性がある。
表 記 ・ 表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○表紙と裏表紙が1つのストーリーになっている。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本編教材数が第1学年が3 4編、補助教材6編、第2学年～第6学年が本編教材3 5編と補助教材5編のうち、二次元コードがあるのは、第1学年「9」、第2学年「6」、第3学年「9」、第4学年「1 2」、第5学年「1 3」、第6学年「1 0」である。
使 用 上 の 便 宜	<ul style="list-style-type: none"> ○全学年でP 6・7に「いろいろなやり方で考えてみよう」があり、考えを整理する方法を表すページがある。 ○第2学年P 1 7 0のように、各学年で素敵な言葉を紹介する「ことばのたからもの」のページがある。 ○AB版で横幅が広い。（第1学年1 5 6ページ、第2学年1 7 2ページ、第3学年1 8 0ページ、第4学年1 8 4ページ、第5学年1 8 8ページ、第6学年1 8 8ページ） 	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末の「学びのあしあと」は記入する枠が小さく、活用しにくい可能性がある。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書

種 目 【 道 徳 】

発行者 【 Gakken 】

	良 い 点	課題となる点
内 容	<p>○板橋区で実際に児童が行った出来事が題材として扱われている。(第6学年P156～P159「届け！ぼくらの願い」)</p> <p>○全学年「道徳の学習が始まるよ(P8・9)」では、第1・2学年で道徳の学習内容、第3・4学年で自分を見つめ深めるポイント、第5・6学年で考えを深めるステップが記載されている。</p> <p>○第6学年P166、167に「栄光の架橋」の歌詞が掲載されており、将来に対する希望や夢を前向きに考える機会にすることができる。</p> <p>○やなせたかしさん(第1学年P136)、長谷川町子さん(第2学年P24)、上野由岐子さん(第3学年P26)、高橋尚子さん(第3学年P118)など、児童が興味をもって考えられる人物の教材を扱っている。</p>	<p>○スタートカリキュラムで活用できる教材が1時間分である。</p>
構 成 ・ 分 量	<p>○本編教材は、第1学年は34編、第2学年～第6学年は35編ある。</p> <p>○教材文の中に「みらいへ」(キャリア)「みんなで」(多様性)「いのち」とまとまりを示し、学習をつなげられるようにしている。</p> <p>○最後のページに道徳の学習のまとめを直接記入できるスペースがある。</p>	<p>○補助教材がないので、道徳の余剰時間がある場合には、東京都教材集や他の教材を活用するか、2時間扱いなどで工夫をする必要がある。</p>
表 記 ・ 表 現	<p>○各教材のスタートがすべて見開きになるよう配慮されている。</p> <p>○11個の指針となるマークを使用し、教材ごとに1～2のマークを振り分けることで教材の方向性が児童にも伝わる。</p> <p>○環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用している。</p>	<p>○本編教材は、第1学年は34編、第2学年～第6学年は35編のうち、二次元コードがあるのは、第1学年「11」、第2学年「10」、第3学年「9」、第4学年「10」、第5学年「9」、第6学年「10」である。</p>
使 用 上 の 便 宜	<p>○表紙に登場するイラストの2人が6年間かけて児童と同じように成長している様子を表している。</p> <p>○全学年P2、3で「つながる私 広がる私」では、教育課題の紹介と自分のことを記述することができる。</p> <p>○AB版で横幅が広い。(第1学年140ページ、第2学年148ページ、第3学年156ページ、第4学年164ページ、第5学年160ページ、第6学年168ページ)</p>	<p>○巻末の「つなげよう 広げよう」では、学年のまとめのみを記入する欄となっている。</p>

令和5年7月7日

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 1

調査委員長 神保 幸次郎

種目	1 国語	2 国語	3 国語
発行	戸田デザイン研究所	戸田デザイン研究所	本の泉社
書名	あいうえおえほん	カタカナえほん	新小学校漢字1026字音読で楽しく学べる漢字童話
著者	とだ こうしろう	とだ こうしろう	井上 憲雄
内容	○平仮名50音を一文字ずつ「単語・絵・文字・書き順」と見開きで紹介している。 ○文字は、デザインして完成させた作者のオリジナルフォントが使われている。	○片仮名を一文字ずつ「絵・単語・(50音の)順番・文字・書き順」と見開きで紹介している。 ○文字は、デザインして完成させた作者のオリジナルフォントが使われている。	○小学校で習う漢字1026字を学年ごとに文章と童話で学べる作りである。 ○童話等の音読等を通して漢字を学べる作りである。
構成・分量	○見開きページの左側には、右側で扱う平仮名が入った「単語と絵」が記載されている。 ○見開きページの右側には、平仮名50音の「文字と書き順(一画ずつ)」が記載されている。	○見開きページの左側には、右側で扱う片仮名が入った「単語と絵」が記載されている。 ○見開きページの右側には、片仮名50音の「順番と文字と書き順(一画ずつ)」が記載されている。	○基本的な構成は国語教科用図書の物語文の表記に似ている。 ○童話は学齢に応じた内容と分量である。 ○1つの童話の中に1学年で習得する漢字が登場する仕組みになっている。
表記・表現	○見開きページに一つの文字と一つの大きな挿絵の構成である。 ○平仮名50音を一文字ずつデザインして記載している。 ○下部に硬筆標準書体で書き順が一画ずつ記載されている。	○見開きページに一つの文字と大きな挿絵の構成である。 ○片仮名50音を一文字ずつデザインして記載している。 ○文字と言葉のイメージがつながりやすい構成である。	○一文ずつ丸数字で番号が振られ、内容が段落ごとに分けている。 ○下部には、漢字が読み仮名付きで紹介されている。 ○文の状況を示した挿絵がある。
使用上の便宜	○平仮名を一文字ずつ読んだり、指でなぞったりしながら覚えることができる。 ○23.5cm四方判 94ページ	○片仮名を一文字ずつ読んだり、指でなぞったりしながら覚えることができる。 ○23.5cm四方判 94ページ	○段落に番号がふってあり、段落が分かりやすく工夫されている。 ○欄外に漢字の読み方が記載されている。 ○A5判 240ページ

令和 5 年 7 月 7 日

令和 5 年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第 9 条の規定による教科用図書（一般図書）)

No. 2

調査委員長 神保 幸次郎

種目	4 社会	5 社会	6 社会
発行	小学館	小学館	福村出版
書名	ドラえもんちずかん 1 につぽんちず	ドラえもんちずかん 2 せかいちず	シリーズ生活を学ぶ 5 遠くへ行きたいな
著者	嶋津 陸 堀野 和彦 大沢 葉子	嶋津 陸 堀野 和彦 大沢 葉子	富岡 達夫・大井 清吉 編
内容	○都道府県名、地名、人々の暮らし、名所などを地方別にまとめている日本地図絵本である。	○国名、都市名、人々の暮らし、名所などを大陸別にまとめている世界地図絵本である。	○交通ルール、社会的マナー、各種の公共施設について説明し、遠足・キャンプ等の野外活動の楽しみ方を紹介している。 ○積極的な社会参加を促す内容となっている。
構成・分量	○一項目について、見開き 2 ページで構成されている。 ○前半は、各地方ごとの地図に、自然や文化、建造物、特産品などの特色が紹介されており、後半は、日本地図に四季ごとの日本の特色が紹介されている。	○一項目について、見開き 2 ページで構成されている。 ○各大陸ごとにある国名や都市名、人々の暮らし、名所、などの特色が紹介されている。	○一項目について、見開き 2 ページで構成されている。 ○社会生活における基本的なルールから、楽しく過ごすための事柄が広範囲にわたって掲載されている。
表記・表現	○平仮名と片仮名のみの表記である。 ○日本各地の様々な写真やキャラクターのイラストが豊富に掲載されている。	○平仮名と片仮名のみの表記である。 ○世界各地の様々な写真やキャラクターのイラストが豊富に掲載されている。	○文章中の全ての漢字に振り仮名がついている。 ○絵と文章が緑色・水色・橙色の 3 色刷りとなっている。
使用上の便宜	○紙質は厚くしっかりした装丁で防水性、耐久性がある。 ○A 4 版 40 ページ。	○紙質は厚くしっかりした装丁で防水性、耐久性がある。 ○A 4 版 40 ページ。	○授業だけでなく、調べ学習にも活用できる。 ○B 5 判 80 ページ

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 3

調査委員長 神保 幸次郎

種目	7 算数	8 算数	9 算数
発行	同成社	同成社	同成社
書名	ゆっくり学ぶ子のためのさんすうドリルB 3～4けたのたしざんひきざん	ゆっくり学ぶ子のためのさんすうドリルC かけ算	ゆっくり学ぶ子のためのさんすうドリルD わり算
著者	遠山真学塾(編)	遠山真学塾(編)	遠山真学塾(編)
内容	<p>○四則計算を科学的に分析し、計算の要素や過程に分類している。筆算体系を中心としたドリルである。</p> <p>○問題の内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3桁の数 ・3桁のたし算、ひき算 ・4桁のたし算、ひき算 	<p>○四則計算を科学的に分析し、計算の要素や過程に分類している。筆算体系を中心としたドリルである。</p> <p>○問題の内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけ算九九 ・2～4桁のかけ算 	<p>○四則計算を科学的に分析し、計算の要素や過程に分類している。筆算体系を中心としたドリルである。</p> <p>○問題の内容は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横書きのわり算 ・1～4桁のわり算
構成・分量	<p>○1ページに計算の要素・分類ごとの筆算を中心とした8～12問の計算問題を扱っている。</p> <p>○計算問題の分類ごとに、まとめの問題や文章問題を配置している。</p>	<p>○1ページに計算の要素・分類ごとの筆算を中心とした8～12問の計算問題を扱っている。</p> <p>○計算問題の分類ごとに、まとめの問題や文章問題を配置している。</p>	<p>○1ページに計算の要素・分類ごとの筆算を中心とした8～12問の計算問題を扱っている。</p> <p>○計算問題の分類ごとに、まとめの問題や文章問題を配置している。</p>
表記・表現	<p>○漢字には振り仮名が書かれている。</p> <p>○計算問題の分類のはじめにはタイルを用いた説明図が記載されている。</p>	<p>○漢字には振り仮名が書かれている。</p> <p>○計算問題の分類のはじめにはタイルを用いた説明図が記載されている。</p> <p>○九九の文章問題では、問題に関係する挿絵が記載されている。</p>	<p>○漢字には振り仮名が書かれている。</p> <p>○計算問題の分類のはじめにはタイルを用いた説明図が記載されている。</p>
使用上の便宜	<p>○計算の分類ごとに、指導者向けの計算の位置付けや指導のポイントがまとめられている。</p> <p>○B5判 110ページ</p>	<p>○計算の分類ごとに、指導者向けの計算の位置付けや指導のポイントがまとめられている。</p> <p>○B5判 111ページ</p>	<p>○計算の分類ごとに、指導者向けの計算の位置付けや指導のポイントがまとめられている。</p> <p>○B5判 111ページ</p>

令和5年7月7日

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 4

調査委員長 神保 幸次郎

種目	10 算数	11 理科	12 保健
発行	同成社	ひかりのくに	ひかりのくに
書名	ゆっくり学ぶ子のためのさんすうドリルE 小数のたし算ひき算	こどものずかんM i o 1 2 きせつとしぜん	改訂新版体験を広げるこどものずかん8 あそびのずかん
著者	遠山真学塾(編)	太田 昇	渋谷 秀夫
内容	○四則計算を科学的に分析し、計算の要素や過程に分類している。筆算体系を中心としたドリルである。 ○問題の内容としては以下である。 ・小数の仕組み、大小 ・小数同士のたし算、ひき算	○四季のそれぞれに見られる自然や生き物、特徴について挿絵や写真で説明したり、クイズ形式で説明したりしている。	○1本のロープや公園にある物を使った遊び、雨上がりの砂場など、身近なものを活用したおもちゃ作りや、様々な遊びを通して、子どもが体験しながら発見する喜びを促す内容である。
構成・分量	○1ページに計算の要素・分類ごとの筆算を中心とした8～12問の計算問題を扱っている。 ○計算問題の分類ごとに、まとめの問題や文章問題を配置している。	○上記の内容で春夏秋冬で説明している。 ○図鑑のように読み進められる箇所がある。	○風・音・光・水など利用する項目ごとに表記している。
表記・表現	○漢字には読み仮名が振られている。 ○計算問題の分類のはじめにはタイルを用いた説明図が記載されている。 ○計算の分類ごとに、指導者向けの計算の位置付けや指導のポイントがまとめられている。	○絵や写真が豊富に活用している。 ○全ての漢字に読み仮名が振られている。 ○吹き出しにより注目しやすい表記がある。	○おもちゃの作り方や遊び方を、イラストや写真を使って説明している。
使用上の便宜	○B5判 110ページ	○縦26cm×横22cm 64ページ	○ハードカバーの装丁で、汚れや傷に強い。 ○縦27cm×横22cm 63ページ

令和5年7月7日

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 5

調査委員長 神保 幸次郎

種目	13 保健	14 保健	15 保健
発行	ひかりのくに	偕成社	偕成社
書名	改訂新版体験を広げるこどもものずかん9 からだとけんこう	子どものマナー図鑑(1) ふだんの生活のマナー	子どものマナー図鑑(3) でかけるときのマナー
著者	頼藤 和寛	峯村 良子	峯村 良子
内容	○からだと食べ物との関係、動物との比較などを通して、体と健康のひみつについて解説している。	○生活していく上での基本的なマナーがイラストとともに示されている。 ○留守番をするとき、手伝いをするとき、ゲームで遊ぶとき等、日常の様々な場面でのマナーが取り上げられている。	○人に迷惑をかけたり事故に遭ったりしないためのマナーがイラストとともに示されている。 ○自転車や乗り物に乗るとき、友達の家や公共施設に行ったとき等、安全な外出のためのマナーが取り上げられている。
構成・分量	○目・歯等の体の部位ごとに人体の仕組みなどをイラストを用いながら表記している。	○1つのテーマにつき、基本的に見開き2ページでイラストを使って説明する構成になっている。 ○16のテーマが記載されている。 ○テーマによっては、各ページ、もしくは4ページに渡っているものもある。	○1つのテーマにつき、見開き2ページでイラストを使って説明する構成になっている。 ○20のテーマが記載されている。
表記・表現	○体の仕組みや器官の働きについて、イラストや写真を使って説明している。	○イラストと共にマナーについて示している。 ○マナー違反の事例についても、イラストで取り上げられている。 ○漢字には読み仮名がふられている。	○イラストと共に基本的なマナーについて示している。 ○周りの人への配慮と守らなければ危険なことの事例についても、イラストで取り上げられている。
使用上の便宜	○ハードカバーの装丁で、汚れや傷に強い。 ○縦27cm×横21cm 63ページ	○ハードカバーの装丁で丈夫である。 ○28cm×23cm 32ページ ○余白はほとんどなく情報が多いため読みにくい。	○ハードカバーの装丁で丈夫である。 ○28cm×23cm 32ページ ○余白はほとんどなく情報が多いため読みにくい。

令和5年7月7日

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 6

調査委員長 神保 幸次郎

種目	16 保健	17 保健	18 保健
発行	金の星社	カドカワ	偕成社
書名	やさしいからだのえほん4 むしばはどうしてできるの？	性の絵本みんながもってる たからものってなーんだ？	子どもの健康を考える絵本 (5) こんなときどうするの？
著者	小野 芳明 監修 せべ まさゆき 絵	たきれい 高橋 幸子 監修	高田 芳朗
内容	○歯の仕組み、虫歯になる原因について、虫歯の予防、歯磨きの仕方について、シンプルなイラストと説明で表記されている。	○性について学ぶ上で初歩的で生物学的なからだのしくみと知識及び、こころとからだを守る方法や考え方が示されている。 ○シンプルなイラストと文章で、1ページに一つずつ伝えたいことをまとめている。	○子どもの身近で起こる事故や怪我、緊急時の救急法や心構えが描かれている。 ○子どもが自分でできることや、注意することと共に、保護者に対する指南(「ママがよむないしょのはなし」というコラムの形式)も記載されている。
構成・分量	○上記の4つの内容で構成されている。	○5つの項目毎にページが色分けされている。 ○前半2項目に、からだのしくみや知識について、後半3項目に、こころとからだを守るために必要な考え方やとるべき行動について示されている。	○ページが進むにつれて見開き2ページで1場面、1ページで1場面、1ページで2場面まとめられている。 ○場面毎に体内での現象や対処方法についてまとめられている。
表記・表現	○絵や写真が豊富に活用されている。 ○すべてが平仮名で明記されている。 ○図鑑のように読み進められる箇所がある。	○文章の語尾は語りかけるような文体である。 ○平仮名中心で、知識として示す単語は漢字で表記されている。	○児童が読む文章は全て平仮名と片仮名で表記されており、片仮名に読み仮名がふられている。
使用上の便宜	○縦26cm×横22cm 28ページ	○ハードカバーの装丁で、汚れや傷に強い装丁である。 ○19cm四方判 48ページ	○保護者に向けた表記として「ママとよむ」「ママがよむ」の表記がある。 ○表紙の厚さは約2mmで丈夫である。 ○縦26cm×横21cm 31ページ。

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 7

調査委員長 神保 幸次郎

種目	19 音楽	20 図画工作	21 図画工作
発行	成美堂出版	学研	学研
書名	CDつき楽しく歌える英語のうた	あそびのおうさまBOOK はじめてきるほん	あそびのおうさまBOOK はって
著者	伊勢 誠 監修	La Zoo	La Zoo
内容	<p>○聞きおぼえのある身近な歌が29曲紹介され、音楽CDが添付している。</p> <p>○英語の歌詞と日本語訳がある。</p> <p>○歌詞の意味や歌が作られた背景と、踊りがイラスト付きで紹介されている。</p>	<p>○自分で考えて紙を切ったり、切り取った紙の形からイメージを広げたりして、想像力を働かせて創作活動を促す内容である。</p>	<p>○紙を切ったり、破いたり、折ったりしてから、想像力を働かせて「貼る」活動ができる。</p>
構成・分量	<p>○一つの歌につき2ページ見開きで紹介されている。</p> <p>○片側に楽譜、もう片側に歌詞と訳が書かれている。</p>	<p>○2ページ見開きで、片方は切ったりちぎったりした紙を貼る台紙となるページ、もう片方は切る材料となるページになっている。</p> <p>○最終的に一冊の絵本が完成する作りになっている。</p>	<p>○2ページ見開きで、片方は切ったりちぎったりした紙を貼る台紙となるページ、もう片方は切る材料となるページになっている。</p> <p>○最終的に一冊の絵本が完成する作りになっている。</p>
表記・表現	<p>○いくつかの挿絵があり、絵本のような作りのページがある。</p> <p>○漢字の表記には振り仮名が振ってある。</p>	<p>○大きなイラストとともに切り貼りしてほしい言葉が端的に表記されている。</p> <p>○表記は平仮名と片仮名のみである。</p>	<p>○大きなイラストとともに切り貼りしてほしい言葉が端的に表記されている。</p> <p>○表記は平仮名と片仮名のみである。</p>
使用上の便宜	<p>○紙質は厚めで耐久性がある。</p> <p>○A B判 96ページ</p>	<p>○はさみで切りやすい厚さの紙質である。</p> <p>○余った紙を入れる「おかたづけぶくろ」や糊を使用する際に敷く「ぬりぬりボード」が付いている。</p> <p>○2000年度にボローニャ児童賞・大賞受賞している。</p> <p>○A 4判 80ページ</p>	<p>○はさみで切りやすい厚さの紙質である。</p> <p>○2000年度にボローニャ児童賞・大賞受賞している。</p> <p>○A 4判 80ページ</p>

令和5年7月7日

令和5年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第9条の規定による教科用図書(一般図書))

No. 8

調査委員長 神保 幸次郎

種目	22 図画工作	23 道徳	24 「生活」
発行	ポプラ	福音館	岩崎書店
書名	ペーパーランド9 はこをつくろう	福音館の科学シリーズ ただいまお仕事中	絵本図鑑シリーズ12のは らのずかんー野の花と虫た ちー
著者	神戸 憲治	おち とよこ 秋山 とも子	長谷川 哲雄
内容	○プレゼントボックスや整理箱、小物入れに使える楽しい箱の簡単な作り方を説明している。	○こどもがやってみたい仕事を中心に、約30の仕事をイラスト共に紹介している。 ○子どもたちが知りたがるような質問に答える形式で仕事内容について説明している。	○田畑のあぜ道・小川のほとり・道端・空き地・草原・湿地等の野原に咲く植物を、初春から晩秋まで順番に、そこに生息している昆虫等を含めて紹介している。
構成・分量	○箱一つにつき、見開き2ページで表記している。	○一つの職業につき見開き2ページで紹介している。 ○右ページは質問に答える形で、左ページは挿絵を多く用いて仕事の内容を紹介している。	○季節毎に8～15ページ程度でまとめて紹介され、実写的で特徴を捉えた絵で描かれている。
表記・表現	○箱の完成写真と、図面を中心に作り方を説明している。	○全ての漢字に振り仮名がついている。 ○職業を説明する文量は10行を超えるものもある。 ○職業を表す絵を用いた目次があり、調べやすい構成になっている。	○全ての漢字に読み仮名が振られている。 ○場所や季節毎の植物や昆虫の特徴が、本物のような細かな描写で描かれている。
使用上の便宜	○ハードカバーで汚れや傷に強い装丁である。 ○縦22cm×横25cm 32ページ	○資格が必要な職業について紹介するページがある。 ○縦26cm×横24cm 72ページ	○巻末に大人向けの索引と解説欄が載っている。 ○表紙は2mm厚で丈夫である。 ○A4判 48ページ。

令和 5 年 7 月 7 日

令和 5 年度 教科用図書調査委員会調査研究報告書
(学校教育法附則第 9 条の規定による教科用図書 (一般図書))

No. 9

調査委員長 神保 幸次郎

種目	2 5 「生活」		
発行	学研		
書名	はっけんずかんどうぶつ改訂版		
著者	今泉忠明 (監修) 山口まさよし (絵)		
内容	○様々な動物が住んでいる場所や体の特徴等のグループごとで分けられている。 ○豊富なイラストや写真とともに紹介されている。 ○動物に体長が記載されている。 ○海の動物以外には、生息地も記載されている。		
構成・分量	○見開き 2 ページに、海にいる動物・草を食べる動物等、各ジャンルの動物が紹介されている。 ○ページをめくることで、動物が何をしているのかが分かるしかけのページがある。		
表記・表現	○平仮名と片仮名のみで表記されている。 ○文章はわかち書きである。		
使用上の便宜	○紙の厚さが 1 mm と厚めである。 ○A B 判 3 6 ページ。		